



Buddycom
ユーザーガイド
v2.1.14



※日々バージョンアップを行っているため、本ユーザーガイド記載のアプリ画面と実際のアプリ画面が異なる場合があります。

改訂履歴

日付	バージョン	変更箇所	変更内容
2019/10/ 3	2. 0. 0	-	・Aldio Enterprise から Buddycom に名称変更
2020/ 3/23	2. 0. 1	-	・設定の初期値と説明：マップ 追加
2021/ 4/26	2. 1. 0	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーガイド書式変更 ・割込み通話 追加 ・セカンダリーグループ発信 追加 ・書式付き定型文 追加 ・Face To Talk 追加 ・VOX 追加 ・付録 機能一覧 追加
2021/ 7/28	2. 1. 1	-	<ul style="list-style-type: none"> ・かんたんログイン 更新 ・チャット受信時のポップアップ表示 追加 ・Face To Talk の検知時間 追加 ・付録 設定の初期値と説明 更新
2021/ 9/29	2. 1. 2	-	<ul style="list-style-type: none"> ・URI スキームの送信 追加 ・トランシーバー翻訳 更新 ・付録 設定の初期値と説明 更新
2021/10/27	2. 1. 3	-	<ul style="list-style-type: none"> ・常時マイクオンモードの説明 追加 ・Bluetooth 接続時のアラート 追加 ・付録 設定の初期値と説明 更新
2021/11/30	2. 1. 4	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン 更新 ・付録 かんたんログインの種類について 追加
2022/5/10	2. 1. 5	-	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン通知 追加 ・グループ切り替え 更新 ・アクセサリ連携 更新 ・定型文送信 更新 ・ライブキャスト 更新 ・トランシーバー翻訳 更新 ・付録 設定の初期値と説明 更新
2022/7/25	2. 1. 6	-	<ul style="list-style-type: none"> ・付録 Wi-Fi/モバイル通信の優先設定 追加 ・付録 ボタン割り当てのメインボタン 追加 ・トランシーバー翻訳 更新 ・セカンドグループ発信 更新 ・定型文 更新 ・インターフェイスの説明 更新
2023/7/4	2. 1. 7	-	・ピン留め機能 追加
2023/8/28	2. 1. 8	-	・ 付録 2-5 に OS 標準の電話アプリで受発信中のユーザーのステータス表示 追加
2023/09/25	2. 1. 9	-	<ul style="list-style-type: none"> ・2. 2. 1 事前準備 更新 ・3. 18. 3 Face To Talk 機能の注意事項 更新 ・3. 19. 2. 2 VOX 機能の注意事項 更新 ・付録. 3-9. 通知設定 更新

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 付録. 3-11. デバイスの設定 更新 ・ 付録. 3-12. その他の設定 更新
2024/10/29	2. 1. 10	-	・ Buddycom 通信テスト 追加
2024/11/26	2. 1. 11	-	・ 付録. 3-7. サウンドボリューム 更新
2024/12/11	2. 1. 12	-	・ ボタンの動作について 追加
2025/7/30	2. 1. 13	-	・ 2. ログイン 更新
2025/8/27	2. 1. 14	P79 付録 3. 7.	・ 「聞く」グループの受信音の説明を追加しました。

はじめに

Buddycom アプリをご利用いただきありがとうございます。

本書では Buddycom アプリの機能と使い方について説明します。Buddycom アプリでお使いいただける機能は、ご利用のプランによって異なります。プランごとに利用できる機能の一覧は、付録「[付録.1 機能一覧](#)」をご参照ください。なお、スマートフォンの操作方法については、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

機能の使い方の一部は Buddycom サイトで公開されている Buddycom の「使い方ガイド一覧」ページ(<https://www.buddycom.net/ja/faq/guide.html>)の動画でも確認できます。本ユーザーガイドと併せてご確認ください。

アプリケーションの動作環境（対応 OS について）

OS	バージョン
iOS	12.0 以降
Android	5.0 以降

目次

1. BUDDYCOM アプリのインストール	1
2. ログイン	1
2.1 ID/パスワードログイン	2
2.2 かんたんログイン	3
2.2.1 事前準備 (Buddycom 管理者の作業)	3
2.2.2 アプリにログイン	6
3. 基本機能	7
3.1 グループ通話	7
3.1.1 グループ通話の種類	8
3.1.2 グループ通話の注意事項	9
3.2 通話履歴の確認	10
3.3 個別通話	11
3.3.1 個別通話の開始方法	11
3.3.2 個別通話の終了 (グループ通話への復帰) 方法	12
3.4 お気に入り機能	13
3.4.1 お気に入り機能の設定方法	13
3.4.2 お気に入りユーザーへの個別通話開始方法	13
3.4.3 お気に入りの削除方法	14
3.5 グループ切り替え	15
3.6 マルチグループ設定	16
3.7 グループの検索・並び替え	17
3.7.1 グループの検索	17
3.7.2 グループの並び替え	17
3.8 セカンドグループ発信	18
3.8.1 セカンドグループの設定	18
3.8.2 セカンドグループの割り当て	20
3.8.3 セカンドグループの解除方法	21
3.8.4 セカンドグループの制限事項/注意事項	21
3.9 アクセサリー連携	22
3.9.1 Android 端末との連携	22
3.9.2 iOS 端末との連携	23
3.9.3 有線タイプ/Bluetooth タイプの周辺機器を発話開始/終了する場合の注意事項	24
3.9.4 ボタンへの動作割り当て	25

3.9.5	Bluetooth 接続時のアラート	27
3.10	テキストの送信	28
3.10.1	URI スキームの送信.....	29
3.11	ピン留め機能	30
3.11.1	ピン留めの設定方法.....	30
3.11.2	ピン留めリストの確認方法.....	31
3.11.3	ピン留めの解除方法.....	32
3.12	画像の送信	34
3.12.1	画像の送信についての制限事項/注意事項.....	34
3.13	強制起動	35
3.13.1	他のユーザーの強制起動.....	35
3.13.2	強制起動の制限事項/注意事項.....	37
3.14	定型文送信	38
3.14.1	定型文の設定方法.....	38
3.14.2	定型文を CHAT 画面から送信する方法.....	41
3.14.3	定型文をアクセサリーのボタンから送信する方法.....	41
3.14.4	定型文を TALK 画面のメインボタンから送信する方法 (Android のみ)	42
3.15	位置情報	43
3.15.1	位置情報の設定方法.....	43
3.15.2	位置情報機能の制限事項/注意事項.....	44
3.16	マップ通話	45
3.16.1	マップ通話の発信方法.....	45
3.16.2	MAP 画面の表示について.....	45
3.16.3	マップ通話機能の制限事項/注意事項.....	46
3.17	電話発信	47
3.17.1	電話発信方法.....	47
3.17.2	電話発信機能の制限事項/注意事項.....	47
3.18	FACE TO TALK	48
3.18.1	Face To Talk の設定方法.....	48
3.18.2	Face To Talk による発話の開始/終了.....	49
3.18.3	Face To Talk 機能の注意事項.....	49
3.19	VOX (VOICE OVER EXCHANGE)	50
3.19.1	Buddycom アプリの設定方法.....	50
3.19.2	VOX による発話の開始/終了.....	51
3.20	チャット受信時のポップアップ表示.....	53
3.20.1	ポップアップの設定方法.....	53

3.20.2	ポップアップ画面の表示について.....	54
3.20.3	ポップアップの設定項目.....	54
3.20.4	ポップアップ表示の制限事項/注意事項.....	55
3.21	オフライン通知	56
3.21.1	オフライン通知の対象.....	56
3.22	BUDDYCOM 通信テスト	57
3.22.1	通信状態のアイコン表示について.....	58
3.22.2	通信状態の手動計測について.....	59
4.	ライブキャスト	61
4.1	ライブキャスト配信方法.....	61
4.2	LIVE 画面の表示について.....	62
4.3	ライブキャスト機能の注意事項.....	62
5.	エンタープライズ機能	63
5.1	音声テキスト化.....	63
5.1.1	音声テキスト化の利用方法.....	63
5.1.2	通話言語の切り替えについて.....	64
5.2	トランシーバー翻訳.....	65
5.2.1	トランシーバー翻訳の言語設定方法.....	65
5.2.2	トランシーバー翻訳の利用方法.....	66
5.2.3	あとから翻訳について.....	67
6.	その他アプリ使用上の注意事項	68
6.1	ANDROID アプリ使用上の注意事項	68
6.2	IOS アプリ使用上の注意事項.....	68
付録.1	機能一覧	69
付録.2	インターフェイスの説明	70
付録.2-1.	TALK 画面.....	70
付録.2-2.	CHAT 画面.....	71
付録.2-3.	LIVE 画面.....	72
付録.2-4.	MAP 画面.....	73
付録.2-5.	OS 標準電話の受発信時のステータス表示.....	74
付録.3	設定の初期値と説明	74
付録.3-1.	アカウント設定	74
付録.3-2.	共通設定	74

付録.3-3. トーク設定	76
付録.3-4. チャット設定	77
付録.3-5. ライブキャスト設定	78
付録.3-6. マップ設定	78
付録.3-7. サウンドボリューム	79
付録.3-8. 通話言語の切り替え	80
付録.3-9. 通知設定	81
付録.3-10. メタデータ設定 (iOS のみ)	81
付録.3-11. デバイスの設定	81
付録.3-12. その他の設定	82
付録.4 ログインの種類について	83

1. Buddycom アプリのインストール

Buddycom は、Google Play ストア、AppStore からインストールできます。
アプリのインストール手順や、使い方の動画、よくある質問については Buddycom のホームページでも公開されていますので、以下の URL をご確認ください。

Google Play ストア (Android) のインストール方法

<https://www.buddycom.net/faq/guide-05.html>

AppStore (iOS) のインストール方法

<https://www.buddycom.net/faq/guide-06.html>

アプリの使い方の解説動画

<https://www.buddycom.net/faq/guide.html>

アプリのよくある質問

<https://www.buddycom.net/faq/faq.html>

2. ログイン

Buddycom アプリへは、表 2-1 にある 2 つの方法でログインできます。

表 2-1 ログイン方法

	ログイン方法	
	ID/パスワードログイン	かんたんログイン
ログイン方法	ログイン画面で、ログイン ID/パスワードを入力します。	管理者が発行したログイン URL をタップ、または QR コードを読み取り、ユーザーを選択してログインをします。
ログインユーザー	ログイン画面で入力したログイン ID のユーザーでログインします。	ログイン URL/QR コードを発行したグループに参加しているユーザーを「アカウントの選択」画面から選んでログインします。
注意事項	同じ ID/パスワードで複数の端末からログインをした場合は、後からログインした端末でログインします。	同じユーザーに対して複数の端末からログインをした場合は、後からログインした端末でログインします。

2.1 ID/パスワードログイン

ログインID/パスワードを入力してログインします。

- (1) アプリ初回起動時にマイクの利用許可やポップアップが表示されます。

全て「許可」を選択してください。

誤って「許可しない」を選択した際は、アプリを再起動するか、スマートフォン端末の設定画面から Buddycom アプリの権限を設定してください。

- (2) ログインID、パスワードを入力し「ログイン」します。

※ログインIDの「@」は半角で入力してください。



- (3) TALK 画面が表示されたらログインが完了です。



2.2 かんたんログイン

管理者から送られたログイン用の URL をタップするか、QR コードを読み取るだけでログインできます。

かんたんログインには「ユーザー選択」と「ユーザーランダム」の2種類があります。詳しくは「[付録.4 かんたんログインの種類について](#)」をご覧ください。

2.2.1 事前準備（Buddycom 管理者の作業）

使用したいユーザーとグループの両方で、かんたんログインの設定をオンにします。

※トライアル開始時に自動作成されたユーザー・グループは最初からオンになっています。

(1) ユーザー設定

ユーザー&グループ画面で、かんたんログインを利用するユーザーを選択します。

ユーザー情報画面の「編集」をクリックするとユーザー情報の編集画面が表示されるので、「かんたんログイン」を ON に変更して、「保存する」をクリックします。



ユーザー情報の編集

ユーザーID 001

ユーザー表示名 001

パスワード

組織名

役職名

電話番号

メールアドレス

かんたんログイン ☒

割り込み権限 ☐

マップ通話 ☒

(2) グループ設定

ユーザー&グループ画面で、かんたんログインを利用するグループを選択します。

グループ情報画面の「編集」をクリックするとグループ情報の編集画面が表示されるので、「かんたんログイン」を ON に変更して、「保存する」をクリックします。



グループ情報の編集

グループID グループ1

グループ表示名 グループ1

音声データの保存 保存する

データの保存先 デフォルト

通話自動終了 (秒) 60

通話形式 単方向通話

かんたんログイン ☒

低ビットレートモード ☐

位置情報 ☒

マップ通話 ☒

ログイン用の URL か QR コードを、ユーザーに送付してください。

ログイン用 URL の取得方法

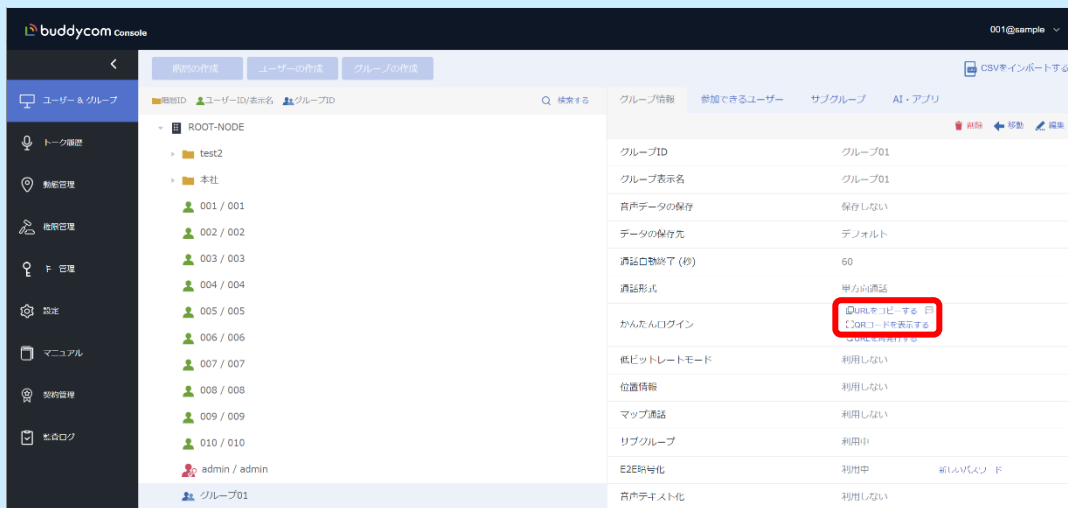
「< Buddycom > トライアルご利用開始のお知らせ」通知メールから URL を取得する方法

通知メールの「■Buddycom アプリへのログイン」欄の URL を直接タップするか、メール等でこの URL をログインしたいユーザーに送付してください。



管理コンソールから URL を取得する方法

管理コンソールのユーザー&グループ画面で、かんたんログインを利用するグループを選択します。グループ情報画面の「かんたんログイン」の項目にある「URL をコピーする」をクリックして URL をコピーし、メール等に貼り付けてログインしたいユーザーに送付してください。



または、グループ情報画面の「かんたんログイン」の項目にある「QR コードを表示する」をクリックして表示した QR コードをコピーし、メール等に貼り付けてログインしたいユーザーに送付してください。

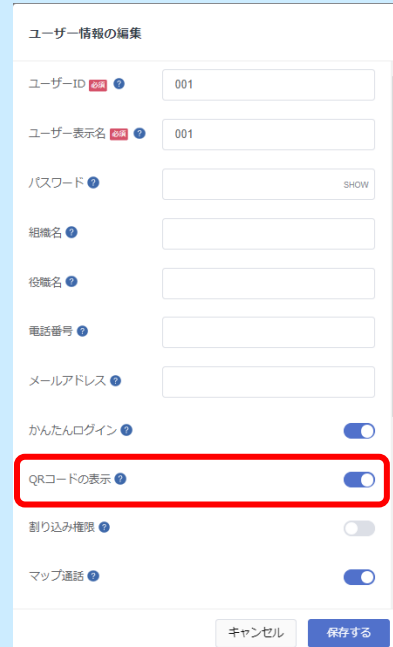


Buddycom アプリから URL を取得する方法

iOS 版アプリバージョン 2.0.57 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.62 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

(1) 管理コンソールの設定

管理コンソールのユーザー&グループ画面で、かんたんログイン QR コードの表示を利用するユーザーを選択します。ユーザー情報画面の「編集」をクリックするとユーザー情報の編集画面が表示されるので、「QR コードの表示」を ON に変更して、「保存する」をクリックします。



(2) Buddycom アプリの操作

TALK 画面からメンバーリストを選択します。メンバーリストの共有ボタンを押下すると、かんたんログイン用の QR コードが表示されます。

- ・共有ボタン：メール等でかんたんログインの URL を共有することができます。
- ・リンクをコピー：かんたんログインの URL をクリップボードにコピーできます。
- ・保存：かんたんログイン QR コードの画像を保存することができます。

※表示される QR コードは、「話す」に設定しているグループのかんたんログイン用 QR コードです。「話す」グループのかんたんログインが OFF になっている場合、共有ボタンは表示されません。



2.2.2 アプリにログイン

- (1) 管理者から送られたログイン URL をタップします。

※URL をタップすると、アプリを選択する画面が出てくるので、Buddycom アプリを選択してください。

- (2) アプリ初回起動時にマイクの利用許可やポップアップが表示されます。

全て「許可」を選択してください。

誤って「許可しない」を選択した際は、アプリを再起動するか、スマートフォン端末の設定画面から Buddycom アプリの権限を設定してください。

- (3) TALK 画面が表示されたらログイン完了です。



3. 基本機能

全てのプラン(Talk Lite プラン、Talk Enterprise プラン、Livecast Enterprise プラン)で利用できます。

3.1 グループ通話

TALK 画面のメイン（グループ通話）ボタンをタップすると、通話を開始します。



待機状態

発話状態



グループ内の通話を受信しているユーザーの確認方法

メンバーリストをタップすると、グループに参加することのできるユーザーと、ステータスが一覧で表示されます。

メンバーリストの表示

● …グループ内の通話を受信しています

グループの選択状態が「話す」または「聞く」に設定されていて、かつ Buddycom アプリがオンライン状態のユーザーです。

● …グループ内の通話を受信していません

グループの選択状態が選択されていない状態、または Buddycom アプリがオフライン状態のユーザーです。

「通話自動終了」で設定した時間が経過すると通話を終了します。設定既定値は 60 秒です。

1 回の通話時間を延長したい場合は管理コンソールからグループ情報を編集してください。

Buddycom アプリケーションの通知設定から自動終了通知が ON になっている場合は音声で通知されます。[付録 3-9. 通知設定](#)をご参照ください。

3.1.1 グループ通話の種類

グループ通話に以下の 3 つの通話方法があります。

	通話方法		
形式	単方向通話(デフォルト)	双方向通話	割り込み通話
説明	発話中のユーザーがいる間、他のユーザーは発話できません。	最大 8 人まで同時に発話できます。	権限を持つユーザーが通話に割り込むことができます。

ご利用のグループの通話方法は管理コンソールにてご確認ください。

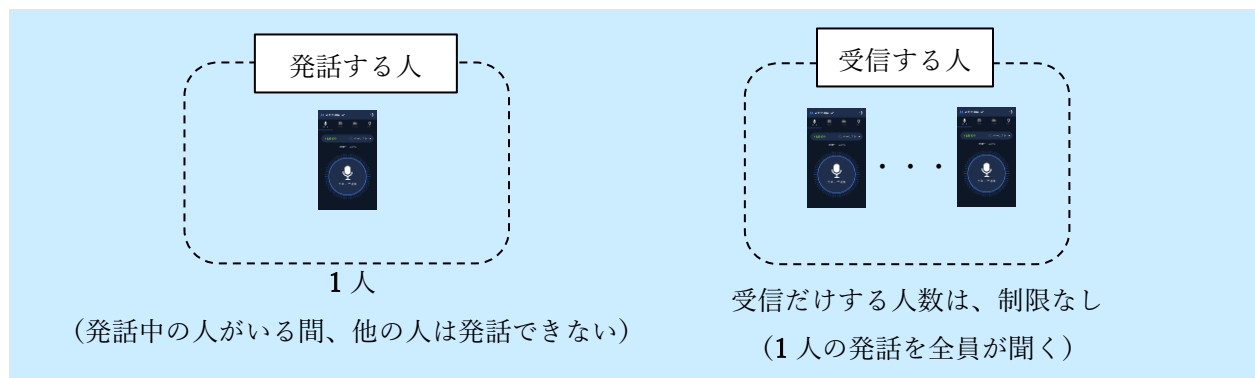
※設定の詳細は「Buddycom 管理コンソールユーザーガイド」を参照してください。

※通話先の選択方法は「[3.5 グループ切り替え](#)」をご参照ください。

3.1.1.1 単方向通話

デフォルトの通話方法です。

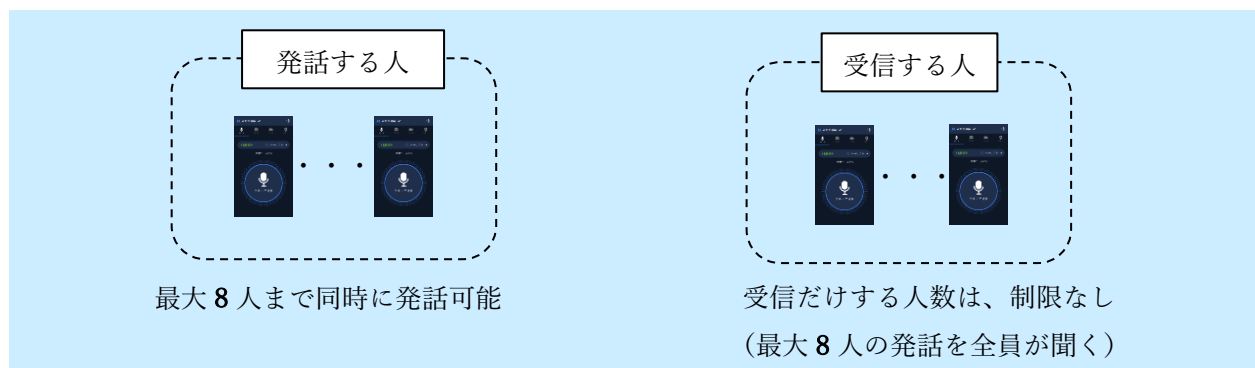
グループ内で一度に「発話(送信)」か「受信」のどちらか片方しか行えません。



3.1.1.2 双方向通話

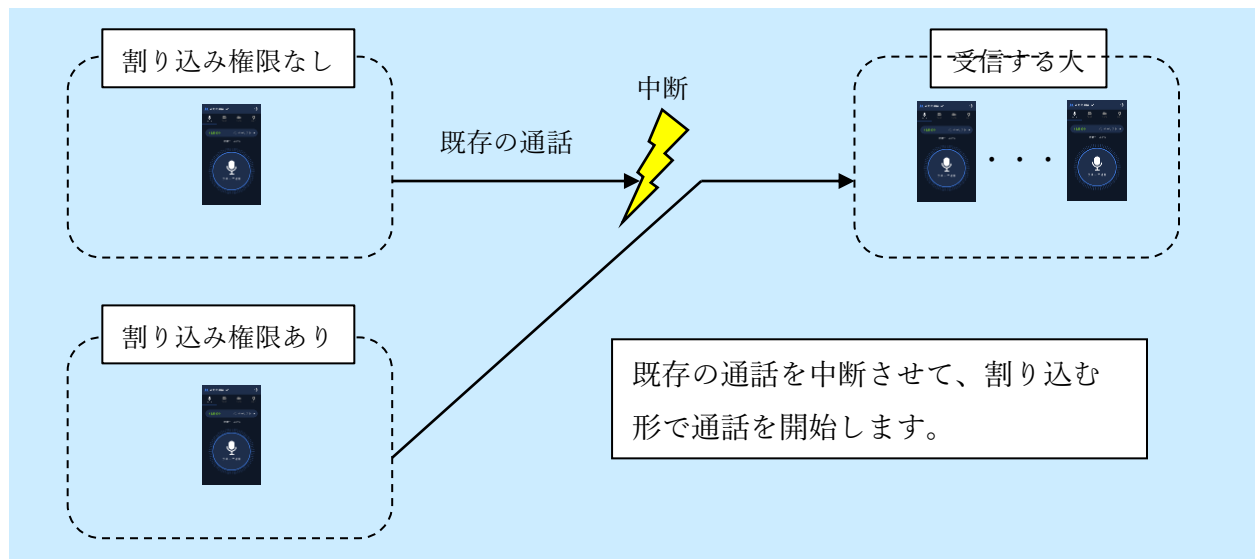
グループ内で「発話(送信)」と「受信」を同時に行うことができます。

グループ内で最大 8 人まで同時に発話でき、複数人で電話のように通話ができます。



3.1.1.3 割り込み通話

単方向通話と似ていますが、割り込み権限を持つユーザーは既存の通話を中断させて強制的に通話を開始することができます。



3.1.2 グループ通話の注意事項

近くにある端末、または、自分自身の端末のスピーカーから出力した音を、マイクが拾うとハウリングが発生します。ハウリングする場合は、マイクに通話中の音声が入るのを防止するため周辺機器のご利用を推奨しております。

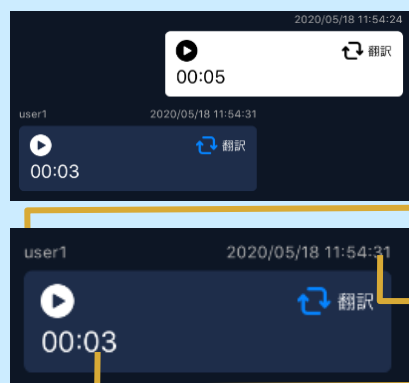
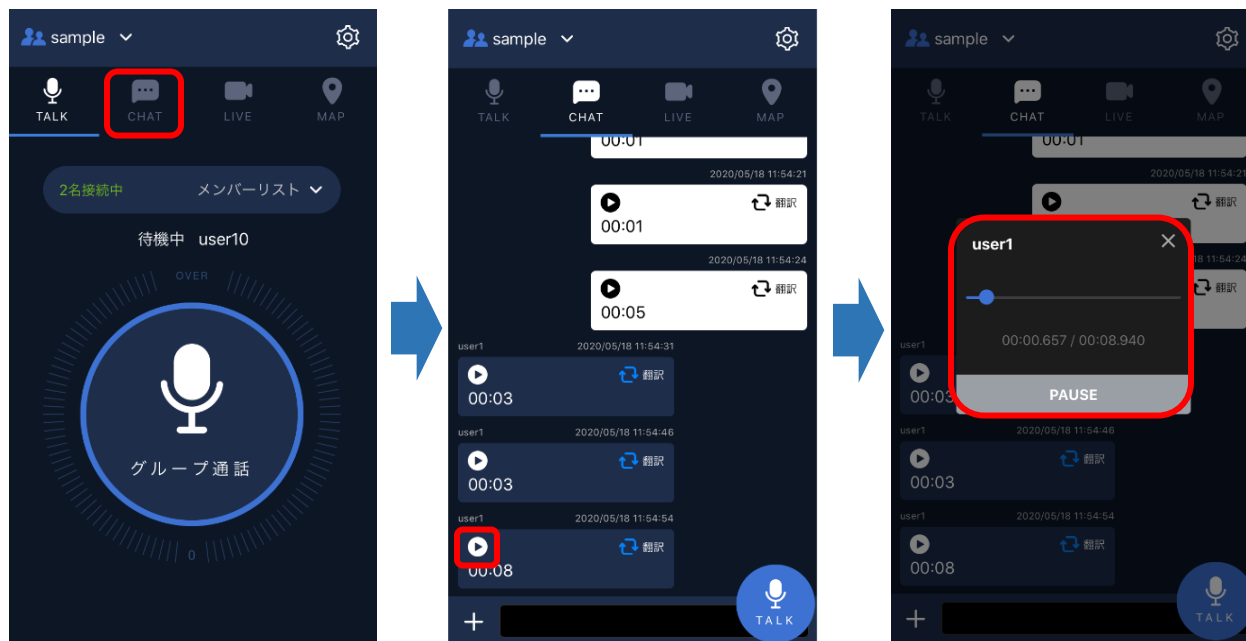
周辺機器を利用しない場合は、以下の対応をお試しく下さい。

- (1) 近くにある他の端末でも通話している場合は、端末同士の距離を離すか、スピーカーの出力音量を小さくするなどして、他の端末からの通話の音声が入らないようにしてください。
- (2) 双方向通話は、不要であればオフにしてください。
- (3) エコーキャンセル機能がついたスマートフォン端末の利用をお試しく下さい。

3.2 通話履歴の確認

Buddycom で行った通話の履歴は「CHAT」画面で確認ができます。

- (1) アプリ画面の「CHAT」をタップし、「CHAT」画面を開きます。
- (2) 再生したい履歴の再生(▶) ボタンをタップします。
- (3) 通話履歴再生のポップアップが表示され、通話履歴が再生されます。



履歴の見方

画面の右側に寄った履歴は自分が発信した履歴です。
左側に寄った履歴は相手が発信した履歴です。

発信者のユーザー表示名

発信日時

通話時間



最新の履歴にジャンプ

画面下部の下矢印のボタン、または画面上部の「CHAT」をタップすると最新の履歴に移動します。

履歴の保存期間はご利用中のプランによって異なります。

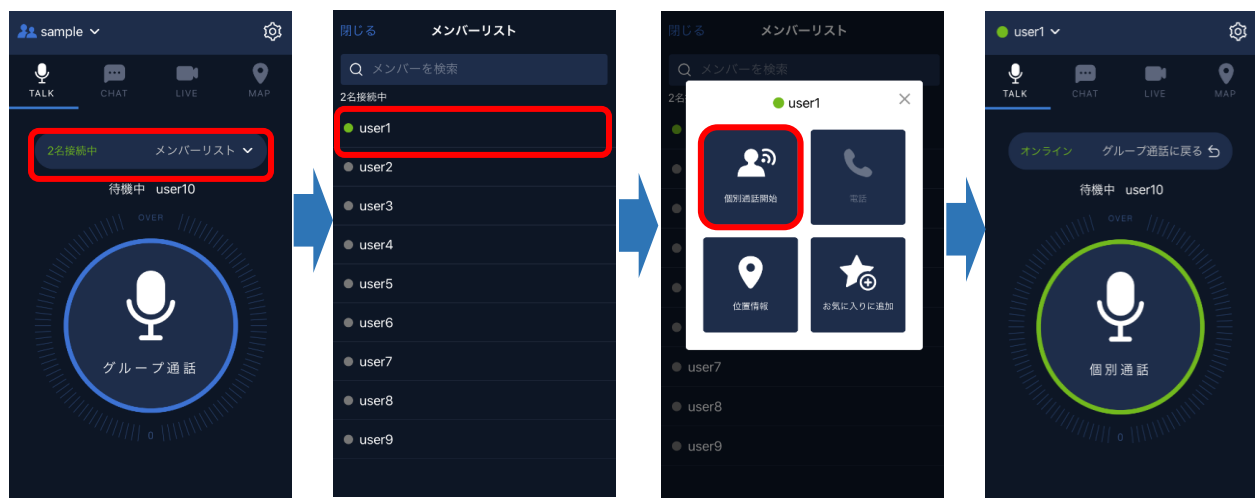
通話履歴は保存期間内であれば管理コンソールの「トーク履歴」からダウンロードができます。

3.3 個別通話

個別通話を利用すると、特定のユーザーと1対1で通話できます。（グループの他のユーザーには通話内容は聞こえません）

3.3.1 個別通話の開始方法

- (1) TALK 画面の「メンバーリスト」をタップします。
- (2) 個別通話を行うユーザーをタップします。
- (3) 表示された項目の中から「個別通話開始」をタップすると、個別通話に切り替わります。



ステータスについて

オンライン グループ通話に戻る

「オンライン」…個別通話の相手と通話ができます。

オフライン グループ通話に戻る

「オフライン」…個別通話の相手が Buddycom アプリを起動していないため通話できません。

※オンライン状態とは Buddycom アプリをフォアグラウンドまたはバックグラウンドにて起動している状態です。

※オフライン状態とは Buddycom アプリを終了またはログアウトしている状態です。

3.3.2 個別通話の終了（グループ通話への復帰）方法

個別通話を終了して、グループ通話を再開する場合は、「グループ通話に戻る」ボタンを利用する方法と、「グループの切り替え」を利用する方法があります。

3.3.2.1 「グループ通話に戻る」ボタンを利用する（個別通話を開始前のグループに戻る）

(1) TALK 画面の「グループ通話に戻る」ボタンをタップします。

(2) 確認画面にて「OK」を選択すると、グループ通話に切り替わります。



3.3.2.2 通話先の選択画面でグループを切り替える（任意の通話先グループに変更する）

(1) TALK 画面の個別通話先をタップします。

(2) 通話先の選択画面にて任意のグループに「話す」設定をして「保存」をタップすると、グループ通話に切り替わります。

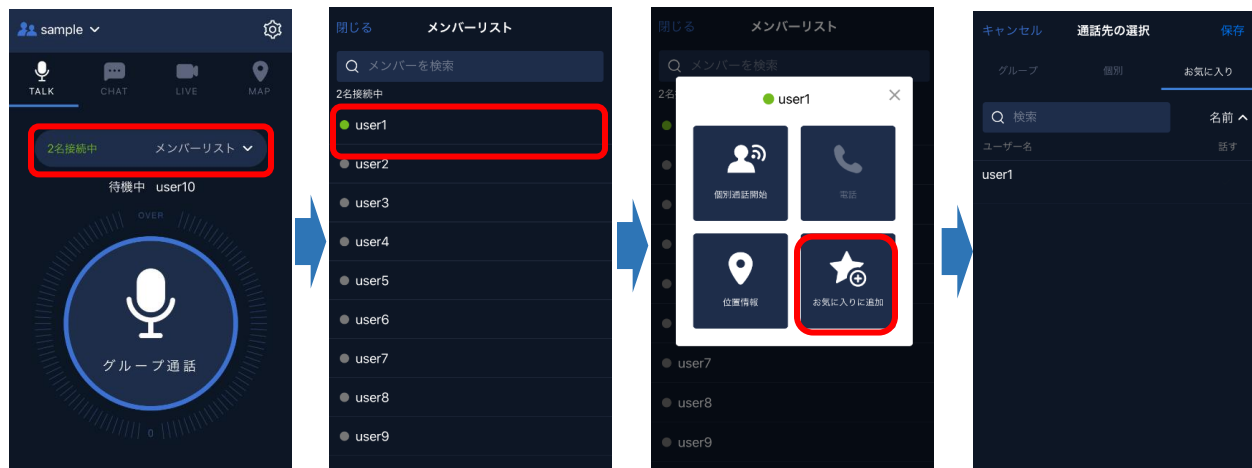


3.4 お気に入り機能

お気に入りに追加することで、通話先の選択画面から簡単に個別通話の開始ができます。

3.4.1 お気に入り機能の設定方法

- (1) TALK 画面の「メンバーリスト」をタップします。
- (2) お気に入り設定を行うユーザーをタップします。
- (3) 表示された項目の中から「お気に入りに追加」をタップすると、通話先の選択画面の「お気に入りに」にユーザーが追加されます。



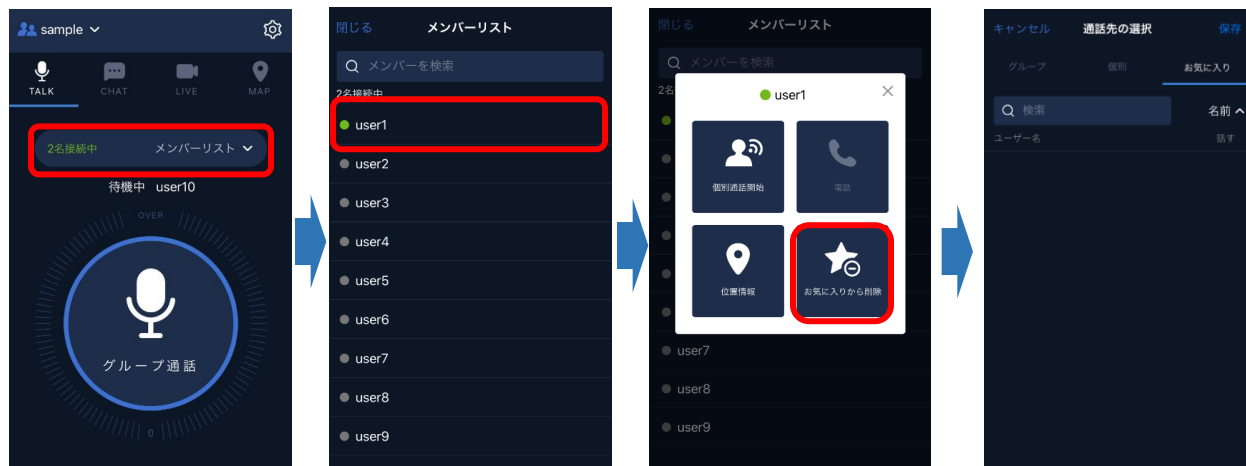
3.4.2 お気に入りユーザーへの個別通話開始方法

- (1) TALK 画面のグループ通話先をタップします。
- (2) 通話先の選択画面の「お気に入りに」をタップします。
- (3) 個別通話を開始するユーザーをタップし、右側に✓マークがついている状態で「保存」すると、個別通話に切り替わります。



3.4.3 お気に入りの削除方法

- (1) TALK 画面の「メンバーリスト」をタップします。
- (2) お気に入り設定を削除するユーザーをタップします。
- (3) 表示された項目の中から「お気に入りから削除」をタップすると、通話先の選択画面の「お気に入り」からユーザーが削除されます。




3.5 グループ切り替え

通話先のグループは、以下の手順で切り替えられます。

- (1) TALK 画面のグループ通話先をタップします。
- (2) 通話先の選択画面にて、接続するグループをタップします。
- (3) グループに緑色のチェックマークがついている状態で「保存」をタップすると、通話先のグループが切り替わります。



通話先のグループの設定について



話す+聞くグループ
「話す」がついた発話先のグループは 1 グループのみ指定できます。

聞くグループ
通話を受信できるグループです。
※詳しくはマルチグループ受信をご参照ください。

聞く(必須)グループ
常に聞く状態のグループです。
※管理コンソールで設定をします。
緊急連絡用のグループなどへの設定を推奨しています。

未設定のグループ
発話または受信の設定がされていないグループです。

※通話先の選択画面に表示されるグループは最大 500 グループです。表示されていないグループは検索すると選択できるようになります。

3.6 マルチグループ設定

マルチグループ受信を利用すると、同時に複数のグループの通話を受信できます。

以下の手順で同時に受信するグループを設定できます。

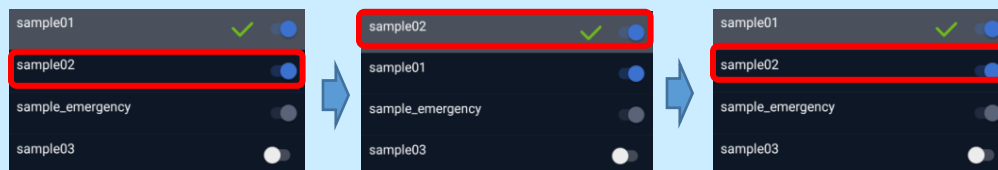
- (1) TALK 画面のグループ通話先をタップします。
- (2) 通話先の選択画面にて、受信するグループの「聞く」スイッチをオンにします。
「保存」をタップすると、受信設定をしたグループの通話が受信できるようになります。



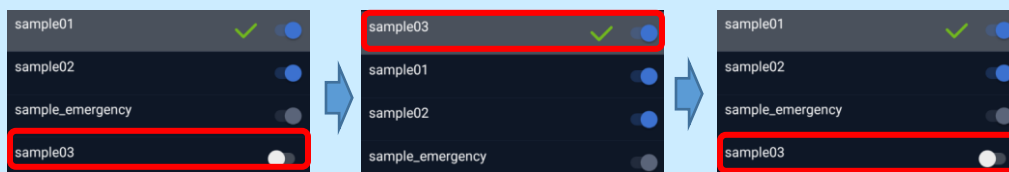
グループへの発信は、通話先の選択画面で「話す」のチェックが付いたグループに対して行います。
発信先のグループを変更したい場合は、グループを切り替えてください。

発信先のグループ変更時の動作について

マルチグループ受信（聞く）状態であったグループを発話先（話す）に変更した後に、他のグループに発話先（話す）を切り替えた場合は、聞く設定は維持されます。



マルチグループ受信（聞く）状態でないグループを発話先（話す）に変更した後に、他のグループに発話先（話す）を切り替えた場合は、聞く設定は解除されます。



3.7 グループの検索・並び替え

通話先の選択画面で、グループの検索と並び替えができます。

3.7.1 グループの検索

- (1) 通話先の選択画面にて、検索ボックスをタップします。
- (2) グループ名を入力すると検索結果が表示されます。



3.7.2 グループの並び替え

- (1) 通話先の選択画面にて、並び替えボタン(初期値：通話状態)をタップします。
- (2) 並び替え方法をタップすると、選択した並び替え方法の順にグループが表示されます。



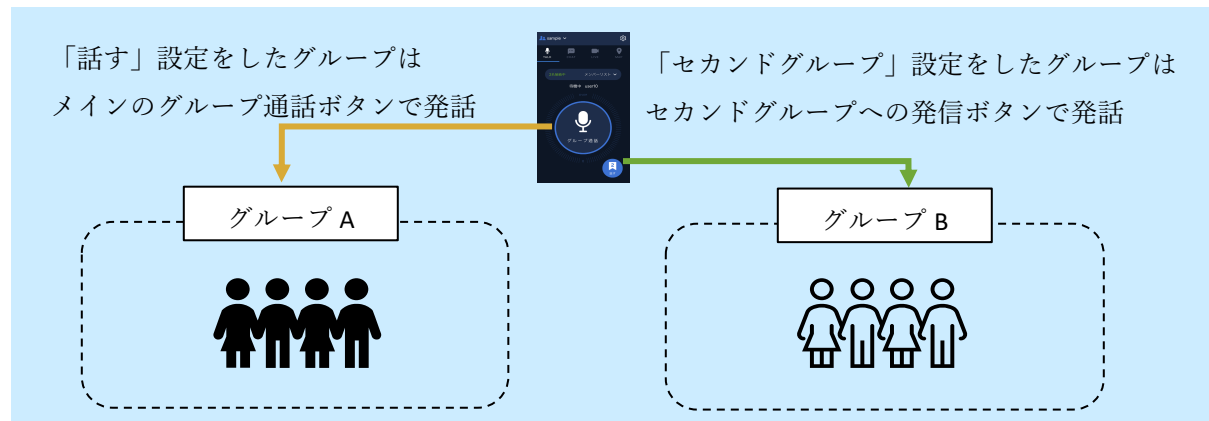
並び替えの順番について

- ・通話状態順：「話す」、「聞く」、「すべてオフ」の順です
- ・グループ名昇順：文字コード（Unicode）の昇順です
- ・グループ名降順：文字コード（Unicode）の降順です
- ・最終通話時刻降順：通話履歴の最終通話時間の降順です

※最終通話時刻は「聞く」をオンにしたグループ表示にされ、アプリを終了するとリセットされます

3.8 セカンドグループ発信

「話す」を設定しているグループとは異なるグループに発信ができます。発信先を切り替えなくても、セカンドグループに設定したグループに対して簡単に発信ができます。



3.8.1 セカンドグループの設定

セカンドグループへの発信は、TALK 画面の「セカンドグループへの通話」ボタンで発信する方法と、TALK 画面のメインボタンで発信する方法（Android のみ）、ボタン割り当て可能な周辺機器を利用する方法があります。

3.8.1.1 TALK 画面の「セカンドグループへの通話」ボタンから発信

- (1) 設定画面の共通をタップします。
- (2) 共通画面のサブボタンの動作より、「セカンドグループへの発信」を選択します。
- (3) TALK 画面に表示された「セカンドグループへの発信」ボタンから発信ができます。
- (4) セカンドグループを割り当てます ([3.8.2 セカンドグループの割り当て](#) を参照ください)



3.8.1.2 TALK 画面のメインボタンから発話（Android のみ）

- (1) 設定画面のボタン割り当てをタップします。
- (2) メインボタンの動作を「セカンドグループへの発信」に設定します。
- (3) TALK 画面のメインボタンから発話ができます。
- (4) セカンドグループを割り当てます（[3.8.2 セカンドグループの割り当て](#) を参照ください）



3.8.1.3 ボタン割り当てによる発信

- (1) 設定画面のボタン割り当てをタップします。
- (2) セカンドグループへの発信を割り当てるボタンをタップします。
- (3) 動作の選択より、「セカンドグループへの発信」をタップします。
- (4) 割り当てたボタンを押下すると、セカンドグループへ発話ができます。
- (5) セカンドグループを割り当てます（[3.8.2 セカンドグループの割り当て](#) を参照ください）



3.8.2 セカンドグループの割り当て

- (1) TALK 画面のグループ通話先をタップします。
- (2) 通話先の選択画面にて、セカンドグループに設定するグループを右にスワイプします。
- (3) スワイプして表示された「**2**」のエリアをタップします。
- (4) 「**2**」がついている状態で、「保存」をタップすれば割り当ては完了です。



3.8.3 セカンドグループの解除方法

- (1) TALK 画面のグループ通話先をタップします。
- (2) 通話先の選択画面にて、セカンドグループに設定するグループを右にスワイプします。
- (3) スワイプして表示された「Reset」のエリアをタップします。
- (4) 「2」がついていない状態で、「保存」をタップすれば解除は完了です。



3.8.4 セカンドグループの制限事項/注意事項

- (1) アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 2.0.10 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.12 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

TALK 画面のメインボタンから発話（Android のみ）は、Android 版アプリバージョン 2.0.44 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

3.9 アクセサリー連携

Bluetooth スピーカーマイクや有線イヤホンマイクなど、Buddycom は様々なアクセサリーの通話ボタンと連携できます。

※アクセサリーがスマートフォン端末や Buddycom に対応している必要があります。

3.9.1 Android 端末との連携

以下の手順で Android 端末と Bluetooth 対応の周辺機器と連携します。

(1) 端末と Bluetooth 機器をペアリングします。

※ペアリング方法についてはご利用の機器のユーザーガイドをご参照ください。

(2) ペアリングができれば、連携は完了です。Buddycom アプリでの設定はありませんので、Bluetooth 機器のマイク、スピーカー、ボタンが使用可能なことをご確認ください。

※BLE（Bluetooth Low Energy）のボタンの接続の際は、ペアリング後に設定画面の「デバイスへの接続」を選択してください。



3.9.2 iOS 端末との連携

以下の手順で iOS 端末と Bluetooth 対応の周辺機器と連携します。

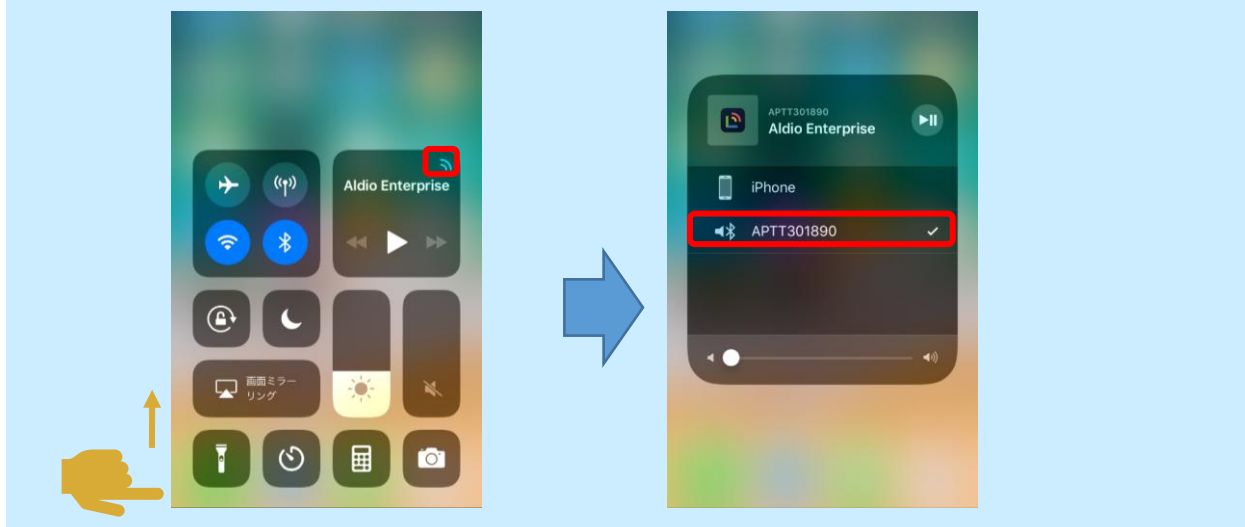
- (1) 端末と Bluetooth 機器をペアリングします。
- (2) Buddycom の設定画面にて「デバイスの設定」をタップします。
- (3) 「連携中のデバイス」にペアリングした Bluetooth 機器が表示されます。

※表示されない場合は、「自動連携」をタップします。



ペアリングしてもスピーカーが切り替わらない場合は

端末の画面を下から上にスワイプし、コントロールセンターにて Buddycom の出力スピーカーが接続した Bluetooth であることを確認してください。



3.9.3 有線タイプ/Bluetooth タイプの周辺機器を発話開始/終了する場合の注意事項

Buddycom では、iPhone がロック中でも周辺機器のボタンで発話開始/終了ができるように、iOS の機能を使用しています。

その機能の動作仕様が iOS のバージョンによって異なるため、周辺機器のボタンで Buddycom の発話開始/終了をした場合の動作が異なります。

【iOS10 ～ iOS12.3 の場合】

周辺機器のボタンを押してから、遅延することなく発話開始/終了ができます。

【iOS12.4～iOS12.4.8 の場合】

周辺機器のボタンを押してから、発話開始/終了まで数十ミリ秒の遅延が発生します。

【iOS13 以降の場合】

周辺機器のボタンを押してから、発話開始/終了まで数ミリ秒の遅延が発生します。

「マイクを常時オンにする」設定を有効にすることで、周辺機器のボタンを押してから、遅延することなく発話開始/終了ができます。



以下の手順で設定をします。

- (1) Buddycom の設定画面の「トーク」をタップします。
- (2) 「マイクを常時オンにする」をタップし、有効にします。

3.9.4 ボタンへの動作割り当て

連携した Bluetooth スピーカーマイクまたは BLE ボタンのボタンに対して、以下の手順で動作を割り当てます。

- (1) Bluetooth 機器の連携完了後、設定画面の「ボタン割り当て」をタップします。
- (2) ボタン割り当て画面にて動作を割り当てるボタンをタップします。
- (3) 動作の選択からボタンに割り当てる動作をタップすれば、割り当ては完了です。



動作を指定できるボタンの数は、連携したアクセサリーの設定可能なボタン数によって異なります。
発話中に異なるボタンを押しても、異なる発話先に同時に発話することはできません。

ボタンの動作について

「設定なし」…ボタンを押しても何も起こりません。

「メイン通話」…「話す」を設定しているグループに対して発話します。

「ダイレクト応答」…通話を受信した最新のグループまたは、個別通話に対して発話します。アプリ起動後に通話を受信していない場合は発話できません。

※ダイレクト応答先のグループはアプリ終了時にリセットされます。

「セカンドグループへの発信」…セカンドグループに割り当てたグループに対して発話を行います。

「定型ステータスの切替」…ボタンを押すたびにユーザーステータスが定型ステータス 1～5 に切り替わります。

「BuddycomAI に話しかける」…BuddycomAI に直接話しかけることができます。

「グループ切り替え」…「話す」グループを変更します。変更先は「聞く」グループに設定しているグループから、（進む）はグループ表示名の昇順で選択され、（戻る）は降順で選択されます。

「定型文送信」…定型文に設定したアクションが実行されます。

ボタンの動作割り当てに対応している機器について



AINA PTT Voice Responder

ボタン	初期値	ボタン名
ボタン 1	メイン通話	メイン PTT (PTT1)
ボタン 2	なし	サブ PTT (PTT2)
ボタン 3	なし	エマージェンシー
ボタン 4	なし	ソフトボタン 左 (SWB1)
ボタン 5	なし	ソフトボタン 右 (SWB2)



AINA PTT Smart Button

ボタン	初期値	ボタン名
ボタン 1	メイン通話	メイン PTT
ボタン 2	なし	マルチファンクション (MFB)
ボタン 3	なし	エマージェンシー



Bbradio2

ボタン	初期値	ボタン名
ボタン 1	メイン通話	PTT ボタン



MKI-P3

ボタン	初期値	ボタン名
ボタン 1	メイン通話	PTT ボタン
ボタン 2	なし	ファンクションボタン 1(F1)
ボタン 3	なし	ファンクションボタン 2(F2)
ボタン 4	なし	ファンクションボタン 3(F3)

製品の詳細については Buddycom ホームページの周辺機器ページをご参照ください。

<https://www.buddycom.net/ja/accessory/headsets-mic-button.html>

3.9.5 Bluetooth 接続時のアラート

Bluetooth デバイスが切断された際にアラートを鳴らします。

(1) 設定方法の「Bluetooth アラート設定」をタップします。



(2) Bluetooth アラート設定画面で必要な設定を行います。設定項目は、下表の通りです。

設定項目	設定内容
Bluetooth 切断時のアラート	Bluetooth デバイスが切断された際にアラートを鳴らします。
アラートの終了時間	アラートの連続鳴動時間を設定します。
サウンド	Bluetooth 切断時の通知のサウンドのオンオフが変更できます。 サウンド「Bluetooth 機器が切断されました」
バイブレーション	Bluetooth 切断時の通知の振動のオンオフが変更できます。

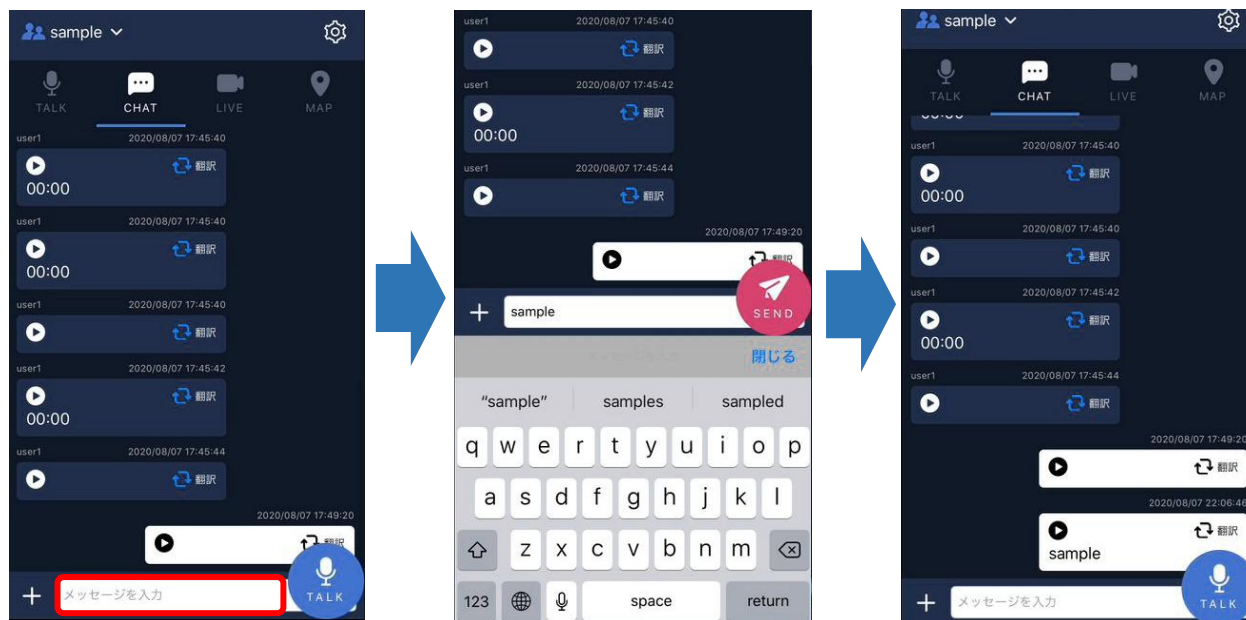
3.10 テキストの送信

以下の手順で、テキストの送信ができます。

(1) CHAT 画面のテキストボックスをタップします。

(2) テキストを入力し、送信ボタンをタップします。

※テキストを入力すると発話ボタン(青色)から送信ボタン(赤色)に変化します。



一度に送信できるテキストは最大 500 文字です。

3. 10. 1 URI スキームの送信

CHAT 画面のテキストボックスに「URI:」と入力すると、URI(Uniform Resource Identifier) スキームを利用してスキームに応じたアプリケーションが開きます。

(例 1) Web サイトへのリンクを送信する場合 (URI:https:～)

(1) テキストボックスに「URI:」と入力し、続けて Web サイトの URL を入力します。

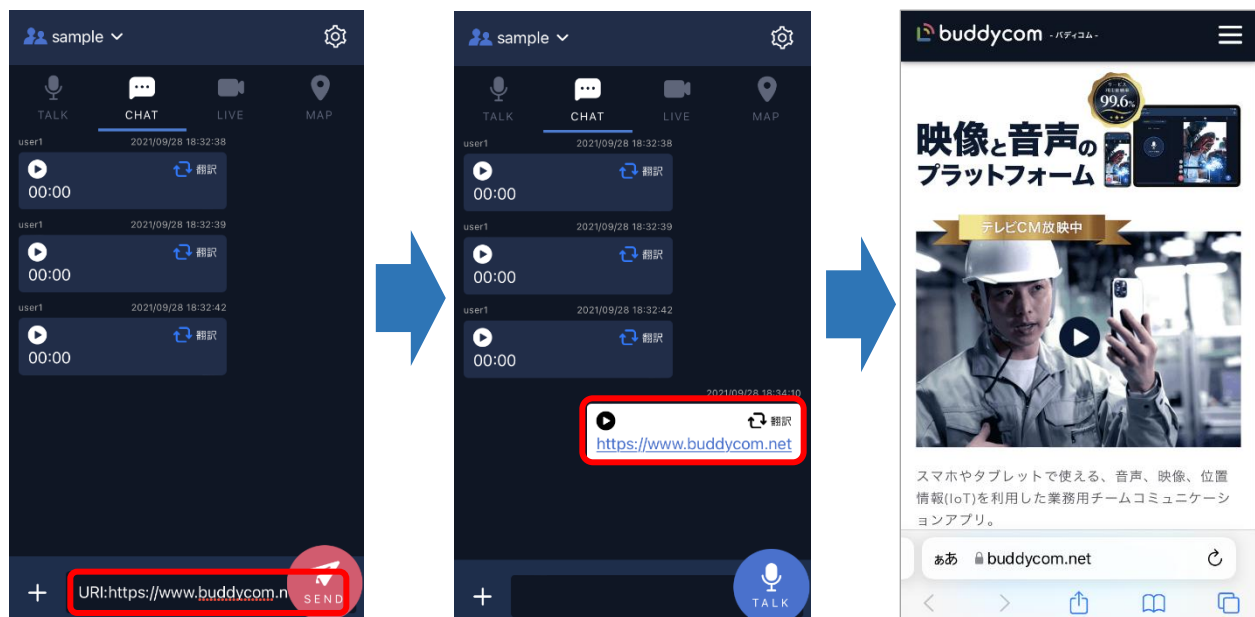
(下記では「URI:https://www.buddycom.net」 と入力)

(2) 送信するとメッセージの URL がタップできます。

(3) タップするとブラウザアプリが起動し、Web ページが開きます。

※Android 版 v2.0.34 以降では Buddycom の内部ブラウザで開くことができます。

詳しくは[付録.3-4 チャット設定](#)の外部リンクの動作を参照ください。



(例 2) 電話番号を送信する場合 (URI:tel:～)

(1) テキストボックスに「URI:」と入力し、続けて「tel:電話番号」を入力します。

(下記では「URI:tel:0358469670」 と入力)

(2) 送信するとメッセージの電話番号がタップできます。

(3) タップすると端末の電話アプリが起動して発信します。



3.11 ピン留め機能

CHAT 画面に表示されている履歴を、「ピン留めリスト」に固定する機能です。

また、「ピン留めリスト」に固定されている履歴には、ピンマークが表示されます。

「ピン留めリスト」はグループで共有されるため、共有したい履歴や、流れてほしくない大事な履歴の固定に活用ができます。

3.11.1 ピン留めの設定方法

CHAT 画面でピン留めをしたい音声履歴やテキスト、または画像や動画を長押しして「ピン留めする」をタップします。ピン留めされたテキストにはピンのマークが表示されます。



「ピン留めリスト」に固定した履歴は、グループ内の他のユーザーに即時反映されます。

3. 11. 2 ピン留めリストの確認方法

CHAT 画面でピン留めした履歴を確認するには、CHAT 画面左下の「+」ボタンから、「ピン留めリストを開く」をタップしてください。



3.11.3 ピン留めの解除方法

ピン留めを解除する方法は CHAT 画面から削除する方法と、ピン留めリストから削除する方法の 2 つがあります。

CHAT 画面でピン留めリストから削除するには、削除したい履歴を長押しして「ピン留めを外す」をタップしてください。



ピン留めリストから削除するには、ピン留めリストから削除したい履歴を長押しして「ピン留めを外す」をタップしてください。



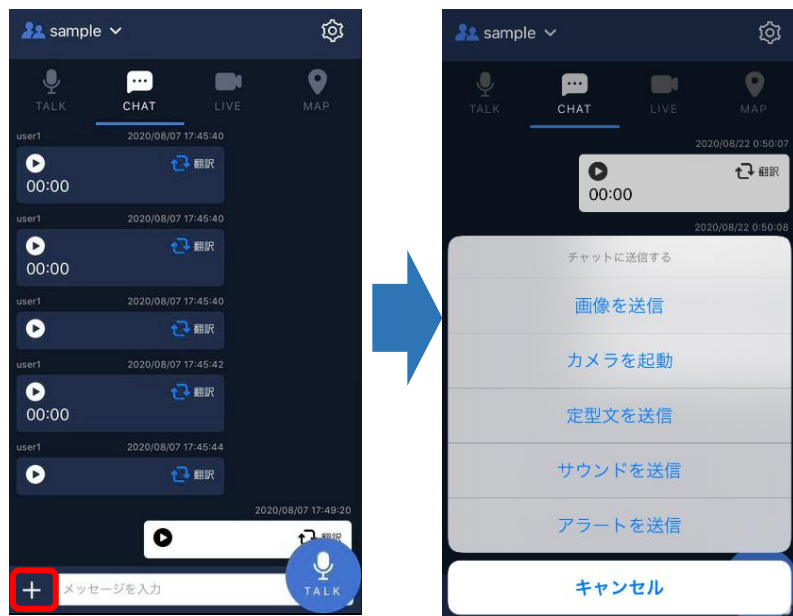
■注意事項

- ・履歴の保存期間が終了した場合、「ピン留めリスト」から自動で削除されます。
- ・ピン留め設定は各グループで 50 件までとなります。
51 件目のピン留めを行おうとした場合、「ピン留め数が上限のためピン留めできません。」と表示されピン留めすることができません。
不要な履歴をピン留めから外してください。
- ・ピン留めリストでは、「あとから翻訳」はできません。チャット画面で翻訳済みの場合にのみ、現在の通話言語と原文の切り替えができます。

3. 12 画像の送信

以下の手順で画像データを送信できます。

- (1) CHAT 画面の「+」ボタンをタップします。
- (2) カメラを起動し撮影した画像か、フォルダ内の画像を送信することができます。



Android 端末のプレビューについて

カメラを起動して撮影を行った際に、プレビュー画面(撮影した画像の確認画面)が表示されない場合は、Buddycom の設定のチャット画面にてカメラの動作「撮影時に送信確認画面を表示する」をオンにしてください。

3. 12. 1 画像の送信についての制限事項/注意事項

- (1) アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 1.2.0 以降、Android 版アプリバージョン 1.2.8 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

- (2) 画像のデータはクラウドに保存しています。データ保存期間はご利用中のプランによって異なります。

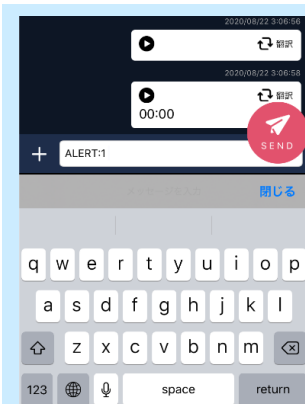
3. 13 強制起動

グループ内または、個別通話の相手ユーザーの Buddycom アプリを強制的に起動することができます。

3. 13. 1 他のユーザーの強制起動

管理コンソールにて「強制起動に送信」権限を付与したユーザーのみ強制起動を送信することができます。

- (1) CHAT 画面の「+」ボタンをタップします。
 - (2) 「アラートを送信」をタップし、アラート音を選択すると強制起動が送信されます。
- ※すでに Buddycom アプリが起動しているユーザーもアラート音と通知が送信されます。
- ※個別通話状態でアラートを送信することで任意のユーザーのみ強制起動できます。



テキストボックスからアラート(強制起動)の送信

テキストボックスに「ALERT:」と入力し、送信することで「アラート送信」の操作と同様に強制起動ができます。

※強制起動の送信権限を持たないユーザーが操作した際は、アラート音のみ送信され、ユーザーの強制起動はできません。

強制起動受信時の動作

- ・アラート受信後の Buddycom アプリ起動動作

-Android 版 Buddycom アプリが起動し、フォアグラウンドに表示されます。

-iOS 版 Buddycom アプリがバックグラウンドで起動します。フォアグラウンドには表示されません。

- ・アラート受信時の通知バッジ（個別通話から送信された場合は、通知バッジは表示されません）
通話先の表示欄に「！」が表示されます。

通話先の選択画面にて、「！」のついたグループに対して、「聞く」をオンにした状態で「保存」を行うことで通知バッジは消えます。※複数のグループから強制起動を受信した場合はそれぞれのグループに対し「聞く」設定をし、「保存」を行うとすべての通知バッジを消すことができます。



強制起動後の起動確認について

送信者がアラート(強制起動)を送信した際に、受信者(グループ内のメンバー)が起動したことは、以下の方法にて確認ができます。

- ・メンバーリストで確認する

メンバーリストは、グループ内の通話を受信している状態であることを確認できます。

これを活用し、グループ内のユーザーが強制起動後に起動したことを確認します。

メンバーリストの表示については 3.1 グループ通話の「[グループ内の通話を受信しているユーザーの確認方法](#)」をご参照ください。

※メンバーリストを利用して、ユーザーの起動を確認する際は、管理コンソールで対象のグループを「必須」設定にすることを推奨しています。グループの通話を受信していないユーザーは Buddycom を起動していても、メンバーリストが灰色のままになります。

- ・個別通話でオンライン状況を確認する

メンバーリストから、対象のユーザーを選択し、個別通話を開始します。

個別通話画面が「オンライン」の場合は Buddycom アプリが起動しています。

「オフライン」の場合は、Buddycom が起動していません。個別通話状態でアラートを送信し、「オンライン」に切り替わるかお試しください。

3. 13. 2 強制起動の制限事項/注意事項

(1) アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 1.1.8 以降、Android 版アプリバージョン 1.2.5 以降のアプリで強制起動に対応しています。それ以前のバージョンのアプリは強制起動できません。

(2) ログアウトしているユーザーは、アラート受信時に強制起動されません。

(3) 企業間通信にて通話グループに所属した異なるテナントのユーザーはアラート受信時に強制起動されません。

(4) Google Play 非対応の Android 端末をご利用の場合は、強制起動されません。

(5) スマートフォン端末の電源が入っていない状態ではユーザーは起動しません。

(6) 一部の機種では、端末のアプリ設定にて「バックグラウンドで実行中にポップアップウィンドウを表示する」をオンにする必要があります。ご確認ください。

3.14 定型文送信

送信内容のテンプレートを作成して、簡単に定型文を送信できます。

3.14.1 定型文の設定方法

- (1) 設定画面の「共通」を開き、「定型文」をタップします。
- (2) 「定型文」画面にて、定型文 1～10 の中から設定を行うものを選択します。
- (3) 「アクションを追加」をタップし、アクションを選択します。

※アクションはひとつの定型文につき最大5つまで設定が可能です。



定型文の設定項目について

「タイトル」…定型文のタイトルを変更します。

「読み上げ文」…入力した読み上げ文を送信します。

※1つの読み上げ文に最大500文字まで設定できます。

「サウンド」…選択したサウンドを送信します。

「アラート」…グループ内のユーザーを強制起動します。

※強制起動の利用には管理コンソールにて強制起動権限の設定が必要です。

「メロディースタンプ」…MML(Music Macro Language)で作成したメロディーの楽譜を定型文に設定し、通知音のように利用できる機能です。

※メロディースタンプについてはこちらをご参照ください。

(<https://www.science-arts.com/downloads/buddycom/manual//buddycom/メロディースタンプ機能について.pdf>)

定型文の設定画面について

再生ボタン
設定したアクションを再生します。

編集ボタン
設定したアクションの編集をします。

削除ボタン
設定したアクションを削除します。

アクションの追加ボタン
アクションの追加設定をします。

3. 14. 1. 1 読み上げ文の設定について

読み上げ文には最大 500 文字まで入力が可能です。

※設定画面のチャットにて「テキスト受信時の自動読み上げ」をオンにしている時のみ、自動で読み上げられます。（「テキスト受信時の自動読み上げ」は初期値がオンになっています。）

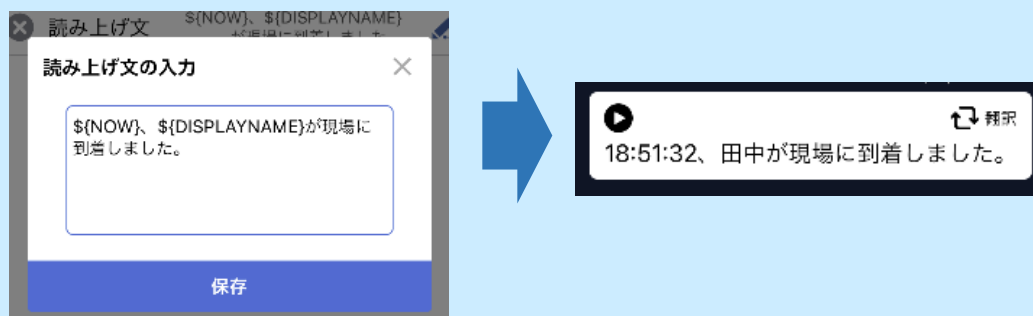
読み上げ文にキーワードを設定すると、送信時に自動または、手動でキーワードを置き換えて送信ができます。

置き換え方法	キーワード	置き換える内容
自動	\${DISPLAYNAME}	ユーザー表示名
	\${GROUPNAME}	送信時に「話す」先に設定されているグループ表示名
	\${USERNAME}	ユーザー名(ログイン時のユーザーID)
	\${TODAY}	送信時の年月日
	\${NOW}	送信時の時刻
手動(*1) (送信時に入力)	\${TEXT}	入力した任意のテキスト
	\${DATE}	選択した日付
	\${TIME}	選択した時間
	\${DATETIME}	選択した日付と時間
	\${NUMBER}	入力した任意の数字

定型文の設定画面について

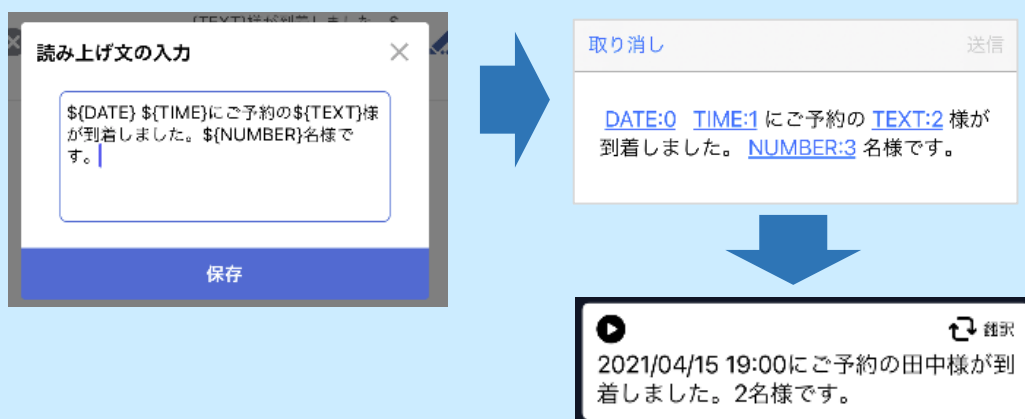
置き換え方法が自動のキーワードを設定した場合

ユーザー表示名「田中」のユーザーが、「\${NOW}、\${DISPLAYNAME}が現場に到着しました」と定義された定型文を送信すると「18:51:32(送信時の時刻)、田中現場に到着しました」と置換されて送信されます。



置き換え方法が手動のキーワードを設定した場合

「\${DATE}\${TIME}にご予約の\${TEXT}様が到着しました。\${NUMBER}名様です。」と定義された定型文を送信する際に、キーワード部分を手動でカスタマイズをします。カスタマイズした置換内容で送信されます。



置き換え方法が手動のキーワードを設定した場合の制限事項/注意事項

(1)アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 2.0.14 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.30 以降で利用できます。それ以前のバージョンのアプリでは利用できません。

(2)書式付き定型文を設定した定型文にはその他のアクションの追加ができません。

(3)書式付き定型文を設定した定型文を、「ボタン割り当て」から送信した場合は、キーワード部分のカスタマイズがされない状態の定型文の原文が送信されます。

3. 14. 2 定型文を CHAT 画面から送信する方法

- (1) CHAT 画面の「+」 ボタンをタップします。
- (2) 「定型文を送信」をタップし、送信する定型文を選択すると送信ができます。



3. 14. 3 定型文をアクセサリーのボタンから送信する方法

ボタン割り当てにて定型文を設定することで、連携をしたアクセサリーのボタンから定型文を送信できます。

設定方法は「[3.9.3 ボタンへの動作割り当て](#)」をご参照ください。

3. 14.4 定型文を TALK 画面のメインボタンから送信する方法（Android のみ）

- (1) 設定画面のボタン割り当てをタップします。
- (2) メインボタンの動作に任意の定型文を設定します。
- (3) TALK 画面のメインボタンから設定した定型文が送信できます。



3. 15 位置情報

地図を表示して、自分自身とグループ内の他のユーザーの位置情報を表示できます。

3. 15. 1 位置情報の設定方法

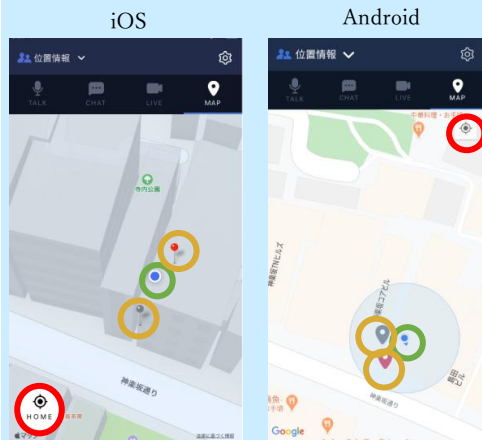
(1) 設定画面の「マップ」をタップします。



(2) マップ設定画面で必要な設定を行います。設定項目は、下表の通りです。

設定項目	設定内容
現在地の取得	自身の位置情報を MAP 画面に表示します。
位置情報の送信	自身の位置情報をサーバーに送信します。 ※動態管理、MAP 通話など位置情報を共有する機能を利用する際に設定します。
使用するマップコンポーネント	使用するマップを選択します。 ※iOS 版でのみ選択できます。
マップのタイプ	マップの表示形式を選択できます。
送信間隔	位置情報の送信間隔を設定します。 ※送信間隔の初期値は「1 分」です。送信間隔の設定時間が短いほど、バッテリーを消費します。

MAP 画面について



○ HOME ボタンを押すと自分の現在地に戻ります。

○ ユーザー(自分)の位置情報です。

○ グループ内のユーザーの位置情報です。

グループ内のユーザーのステータス

赤ピン…グループ通話を受信しているユーザーです。

灰ピン…グループ通話を受信していないユーザーです。

※一度マップに表示されたユーザーは、グループから全ユーザーが移動して5分が経過するか、全ユーザーがBuddycom アプリを終了して5分経過するとマップ上のユーザーの表示が削除されます。

※MAP 画面は 10 秒ごとに更新されます。

※MAP 画面には最大 500 ユーザー表示することができます。

500 ユーザー以上のグループで利用する場合は、MAP の表示範囲を狭めてご利用ください。

3. 15. 2 位置情報機能の制限事項/注意事項

(1) OS のアプリの設定

位置情報を取得するためには、端末のアプリの設定で、Buddycom アプリの位置情報を許可する必要があります。端末の設定画面にて、位置情報の設定をご確認ください。

(2) Android での位置情報の許可設定

Android 10 以降の端末では、アプリの位置情報の設定に「使用中のみ許可」があります。「使用中のみ許可」を選択すると Buddycom アプリがバックグラウンド状態の際に、位置情報の取得が行われません。「常に許可」の設定を推奨しています。

3. 16 マップ通話

「位置情報」「マップ通話」オプションを設定したグループで、マップに位置情報を表示されたユーザーに対して通話することができます。

マップ通話を利用できるグループは管理者へご確認ください。

位置情報の表示方法は「[位置情報](#)」をご参照ください。

3. 16. 1 マップ通話の発信方法

青枠□の範囲内に表示にされたユーザーに対してミニトークボタンで通話を開始します。






Google Map




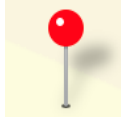
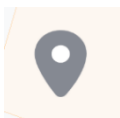
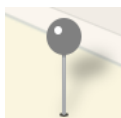
Apple Map

3. 16. 2 MAP 画面の表示について

MAP 画面のボタンについて

ボタン名称	アイコン		説明
ミニトークボタン			マップの□範囲内に表示されたユーザーに対して発話します。
ホームボタン	Android 	iOS 	マップ設定で「現在地の取得」が有効のとき、自身の現在地に戻ります。

ユーザーのステータスについて

Google Map	Apple Map	説明
		グループ通話を受信しているユーザーです。
		グループ通話を受信していないユーザーです。 ※マップ通話は個別通話として発信するため、グループ通話を受信していないユーザーもアプリを起動していれば受信することができます。

3. 16. 3 マップ通話機能の制限事項/注意事項

(1) アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 1.1.2 以降、Android 版アプリバージョン 1.1.1 以降のアプリで強制起動に対応しています。それ以前のバージョンのアプリではマップ通話は利用できません。

(2) 個別通話として発信するため、通話履歴は個別通話に保存されます。

(3) アクセサリーのボタン操作ではマップ通話はできません。マップ通話画面でアクセサリーのボタン操作で発話した場合、通常のグループ通話になります。

3. 17 電話発信

メンバーリストから選択したユーザーの登録された電話番号に端末の電話機能にて発信することができます。

3. 17. 1 電話発信方法

以下の手順でグループ内のユーザーに対して、端末の電話機能を利用して発信できます。

- (1) TALK 画面のメンバーリストを開きます。
- (2) 電話発信を行うユーザーを選び、「電話」を選択します。
- (3) OS 標準の電話アプリが起動します。



3. 17. 2 電話発信機能の制限事項/注意事項

(1) アプリの対応バージョン

iOS 版アプリバージョン 1.1.9 以降、Android 版アプリバージョン 1.2.7 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

(2) 電話番号の設定

電話発信機能を利用するには、ユーザー情報に「電話番号」が登録されている必要があります。電話番号の設定については、管理コンソールユーザーガイドをご参照ください。

3.18 Face To Talk

端末の画面に顔を向けて認識させて、音声通話を開始/終了できます。

3.18.1 Face To Talk の設定方法

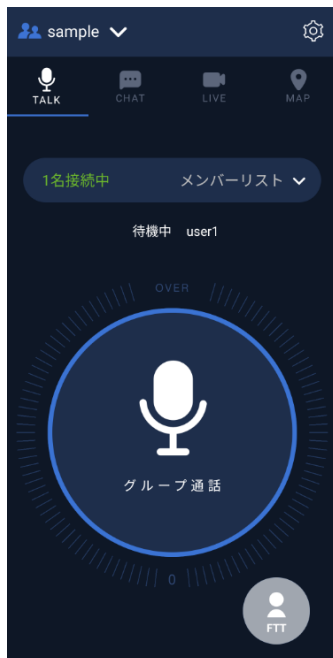
- (1) Buddycom 設定のトークを開きます。
- (2) トーク画面にて「Face to talk を有効にする」をオンにします。
- (3) 発話開始されるまでの時間を調整するには、「Face to talk の設定」で「顔を検知するまでの時間」を変更します。0.0～5.0 秒の間で変更可能で、初期値は 1.0 秒です。

3.18.1.1 ショートカットの設定（Face To Talk ボタンを表示します）

「Face to talk を有効にする」にて、設定を行った場合は、TALK 画面に Face To Talk のアイコンは表示されません。そのため、以下のショートカットの設定を推奨しています。

- (1) Buddycom 設定の共通を開きます。
- (2) 共通画面にて、サブボタン押下時の動作の「Face to talk のショートカット」をオンにします。

ショートカットをオンにすると、下記のように Buddycom の画面に Face To Talk のボタンが表示されます。ボタンをタップして Face To Talk を有効にしてください。（ボタンをタップすることで、オン/オフが切り替わります）



Face To Talk オフ



Face To Talk オン

※「Face To Talk を有効にする」と「Face To Talk のショートカット」ボタンのオン/オフ設定は連動しています。

3. 18. 2 Face To Talk による発話の開始/終了

Face To Talk がオンの状態で端末の画面に顔を向けて発話を開始します。発話を開始してから、顔を認識している間、ハンズフリー状態で発話を続けられます。

画面から顔を逸らすと、発話を終了します。

3. 18. 3 Face To Talk 機能の注意事項

- (1) スマートフォンがロック状態になっているときや、Buddycom アプリがバックグラウンド（ホーム画面や、他のアプリが画面に表示されている）状態になっているときは、Face To Talk を利用できません。Face To Talk を利用するときは、Buddycom アプリをフォアグラウンド（画面に Buddycom アプリを表示する）状態にしてください。

- (2) ショートカットの設定や、Face To Talk の設定がグレイアウトされている場合ご利用の端末が、顔認証機能に対応していません。

iOS : Face ID に対応している機種で利用できます。

Face ID を使える iPhone や iPad については、<https://support.apple.com/ja-jp/HT209183> をご確認ください。

Android : 顔認証機能に対応した機種でのみ利用できます。

端末の対応については、購入元にご確認ください。

- (3) Face To Talk の設定が設定画面にない場合

ご利用の Buddycom アプリが顔認証機能に対応していません。

iOS : バージョン 2.0.6 以降で利用できます。

Android : バージョン 2.0.7 以降で利用できます。

- (4) VOX との併用

VOX 機能とは併用できません。VOX 機能が ON になっている場合、Face To Talk を ON にすることはできません。

3.19 VOX (Voice Over eXchange)

音声を検知すると自動的に音声通話を開始し、感知なくなると自動的に音声通話を終了します。

3.19.1 Buddycom アプリの設定方法

- (1) Buddycom 設定のトークを開きます。
- (2) トーク画面にて「VOX を有効にする」をオンにします。

3.19.1.1 ショートカットの設定 (VOX ボタンを表示します)

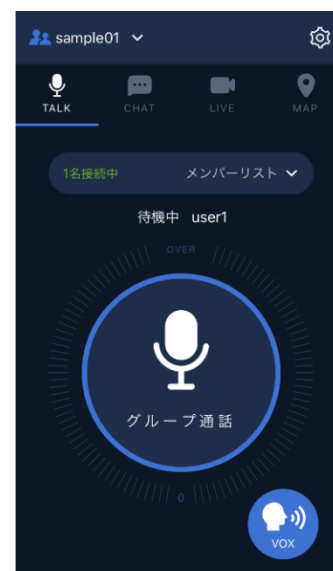
「VOX を有効にする」にて、設定を行った場合は、TALK 画面に VOX のアイコンは表示されません。そのため、以下のショートカットの設定を推奨しています。

- (1) Buddycom 設定の共通を開きます。
- (2) 共通画面にて、サブボタン押下時の動作の「VOX のショートカット」をオンにします。

ショートカットをオンにすると、下記のように Buddycom の画面右下に VOX のボタンが表示されます。ボタンをタップして VOX を有効にしてください。（ボタンをタップすることで、オン/オフが切り替わります）



VOX オフ



VOX オン

※「VOX を有効にする」と「VOX のショートカット」ボタンのオン/オフ設定は連動しています。

3. 19. 2 VOX による発話の開始/終了

VOX がオンの状態で発声を行うと発話を開始します。発話を開始してから、音声を認識している間、ハンズフリー状態で発話を続けられます。発声を終了すると、発話を終了します。

VOX がオンであれば、Buddycom アプリがバックグラウンド状態や、ロック画面でも音声を認識すると発話状態になります。

3. 19. 2. 1 VOX のモードと設定項目

Intelligence モード：「声の認識精度」「音量感度」「切断する時間」を調整できます。

Basic モード：「音量感度」「切断する時間」を調整できます。

Intelligence モード

Basic モード

設定項目	設定内容
声の認識精度 (Intelligence モードのみ)	VOX の感度を調整します。感度を上げると音声を厳密に認識し、感度を下げると音声以外の様々な音に反応しやすくなります。 (初期値は中間です)
音量感度 (モード共通)	Max に近いほど、小さい音に反応しなくなります。 (初期値は中間です)
切断する時間 (モード共通)	音声を認識しなくなってから通話を終了するまでの時間です。 (初期値は 1000ms です)

3. 19. 2. 2 VOX 機能の注意事項

(1) 発話内容の頭切れ

音声を感知してから発話を開始するため、発話開始した初めの音声が入切れる場合があります。発声して発話開始のビープ音を聞いてから会話を始めてください。

(2) 「VOX を有効にする」が設定画面にない場合

ご利用の Buddycom アプリが VOX 機能に対応していません。

iOS : バージョン 2.0.5 以降で利用できます。

Android : バージョン 2.0.7 以降で利用できます。

(3) 「VOX の設定」が設定画面にない場合

ご利用の Buddycom アプリが VOX の設定機能に対応していません。

iOS : バージョン 2.0.8 以降で利用できます。

Android : バージョン 2.0.8 以降で利用できます。

(4) 外部アクセサリの利用を推奨

VOX 機能は端末本体のマイクで使用すると、周囲の会話などを拾い誤発信する可能性があります。そのため、指向性の高い外部アクセサリの利用を推奨します。

Buddycom での推奨している外部アクセサリは <https://www.buddycom.net/ja/accessory/headsets-mic-button.html> の周辺機器をご参照ください。

(5) Face To Talk との併用

Face To Talk 機能と併用できません。Face To Talk 機能が ON になっている場合、VOX は ON にすることができません。

3. 20 チャット受信時のポップアップ表示

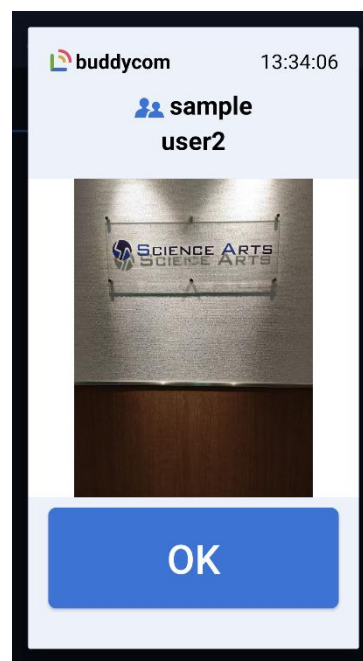
テキストや画像を受信すると、ポップアップで大きく表示します。

音声テキスト化を利用しているグループでは、テキスト化された発話内容もポップアップで表示されます。

※テキストのサイズは、文字数に応じて可能な限り大きく表示されます。



テキスト受信時



画像受信時

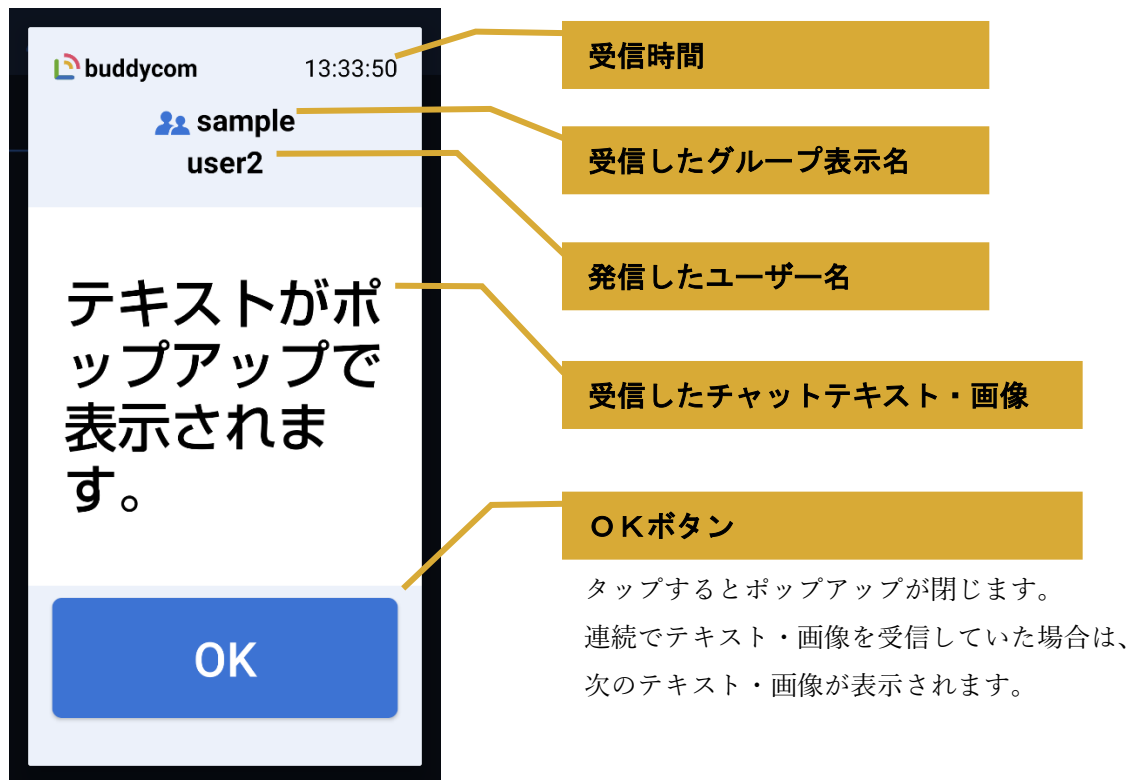
3. 20. 1 ポップアップの設定方法

(1) Buddycom 設定のチャットを開きます。

(2) 「ポップアップを有効にする」を有効にします。

※ポップアップのタイプ設定にて有効になっている項目がない場合は、ポップアップは表示されません。「テキスト」「画像」のいずれか、または両方を有効に設定してください。

3. 20. 2 ポップアップ画面の表示について



3. 20. 3 ポップアップの設定項目

設定項目	設定内容
背景色	ポップアップの背景色を 16 進数カラーコードで指定します。
文字色	ポップアップの文字色を 16 進数カラーコードで指定します。
テキストの点滅	表示する文字を点滅させます。
ポップアップの自動クローズ	「ポップアップの自動クローズ時間」で指定した時間（分）が経過したとき、ポップアップを閉じます。テキストや画像を連続して受信していた場合、次に受信していたテキストまたは画像がポップアップで表示されます。
ポップアップの自動クローズ時間	ポップアップが自動で閉じるまでの時間を分単位で指定します。 (10~1000 秒)
テキスト	テキスト受信時にポップアップを表示します。
画像	画像受信時にポップアップを表示します。

3. 20. 4 ポップアップ表示の制限事項/注意事項

(1) アプリの対応バージョン

Android 版アプリバージョン 2.0.27 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンと、iOS 版では利用できません。

(2) ライブキャスト

ライブキャストの動画はポップアップ表示されません。

(3) ポップアップの表示について

古いものから順番に表示されます。「OK」をタップすることで、次の履歴が表示されます。履歴は「ポップアップの自動クローズ時間」に設定をした時間が経過すると自動で閉じます。

(4) ポップアップ表示中の動作について

ポップアップ表示中は Buddycom の画面操作はできません。

「OK」を押して、通知を閉じてから操作をしてください。

※ポップアップ表示機能を利用する際は、有線イヤホンまたは Bluetooth 機器の利用を推奨しています。

3.21 オフライン通知

スマートフォンのネットワークが切断されている最中に通話やメッセージを受信したとき、ネットワークが復旧した際にプッシュ通知される機能です。

3.21.1 オフライン通知の対象

オフライン通知の対象は**音声通話**、**チャット**、**画像**、**ライブキャスト**を受信したときです。

オフライン通知対象のグループは以下の通りです。

対象	対象外
話すグループ	<ul style="list-style-type: none">・ 聞くグループ・ 必須グループ・ セカンドグループ・ 個別通話



Buddycom の通知設定の「フォアグラウンド時に通知を表示する」がオフでも通知されます。
また、通知設定の「音声通知」をオンにすると、プッシュ通知内容を読み上げます。

通知設定の設定項目については[付録.3-9. 通知設定](#)をご参照ください。

3. 22 Buddycom 通信テスト

Buddycom での通話が遅延したり、途切れたりする場合は、利用している携帯電話（SIM）や Wi-Fi の接続の遅延や切断が原因である可能性があります。そのような場合は、Buddycom 通信テスト機能で、ご利用の端末と Buddycom との通信状態をご確認ください。

ご利用いただいている場所や周辺の混雑状況によって通信が不安定になることがあります。通信テストを行った結果、通信状態が良くない場合は、安定してご利用いただける場所で通話をしていただくか、通信環境の見直しをお願いいたします。

Buddycom 通信テスト機能には、以下の 2 つの機能があります。

機能名	機能の概要
自動計測 (アイコン表示)	30 秒間隔で Buddycom の通信状態をチェックして、Buddycom アプリの通信状態を 5 段階のアイコンで表示します。
手動計測	通信状態を詳細に把握するための、応答時間（レイテンシー）や、応答時間の揺れ（ジッター）を計測します。



自動計測した結果のアイコン表示は、Buddycom アプリの右上に表示されます。

iOS 版アプリバージョン 2.0.62 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.65 以降のアプリで利用できます。それ以前のバージョンでは利用できません。

3. 22. 1通信状態のアイコン表示について

通信状態を示すアイコンは、以下の5段階で表示されます。この表示は、通信状態の確認を行った時点で更新されるため、リアルタイムの状態を示すものではありませんのでご注意ください。（最大で30秒前の状態が表示されるので、現在の状態とアイコンの表示が異なることがあります）

	表示例	説明
緑色		音声通話、ライブキャストが快適に利用できるレベルです。
青色		音声通話が快適に利用できるレベルです。 ライブキャストで少しの遅延や途切れが発生する可能性があります。
黄色		音声通話で少しの遅延や途切れが発生する可能性があります。 ライブキャストの遅延や途切れが多くなる可能性があります。
×印		音声通話、ライブキャストの遅延や途切れが多くなる可能性があります。
グレー		未計測の状態です（アプリの起動直後など自動計測が開始されていない場合に表示されます）

3. 22. 2通信状態の手動計測について

通信状態のアイコンをタップすると「Buddycom 通信テスト」の計測画面が開きます。「計測する」ボタンをタップすると、応答速度などを計測できます。



表示項目	意味	
ネットワーク 状態	レイテンシーの計測結果からネットワークの状態を表示します。 ※レイテンシーが適正值でも、ジッターの値の幅が大きい場合、遅延や途切れが発生する可能性があります。	
	レイテンシの計測結果	表示される説明
	(未計測)	計測には 50KByte のデータを利用します。
	100 ミリ秒以下	音声通話が快適に使用できるレベルです。 ライブキャストが快適に使用できるレベルです。
	101～200 ミリ秒	音声通話が快適に利用できるレベルです。 ライブキャストで少しの遅延や途切れが発生する可能性があります。
	201～1000 ミリ秒	音声通話で少しの遅延や途切れが発生する可能性があります。 ライブキャストでの遅延や途切れが多くなる可能性があります。
	1001 ミリ秒以上	音声通話での遅延や途切れが多くなる可能性があります。 ライブキャストでの遅延や途切れが多くなる可能性があります。

レイテンシ	計測端末から Buddycom サーバーに通信を行った際の平均的な応答時間をミリ秒で表示します。数字が小さいほど、応答速度が速く快適にご利用いただけます。
ジッター	計測した応答時間の最低値（最も高速）と最高値（最も低速）の変動幅をミリ秒で表示します。数字が小さく、変動幅が小さいほど安定してご利用いただけます。
最終更新	手動での計測を最後に行った日時を表示します。

4. ライブキャスト

Livecast Enterprise プランで利用できます。

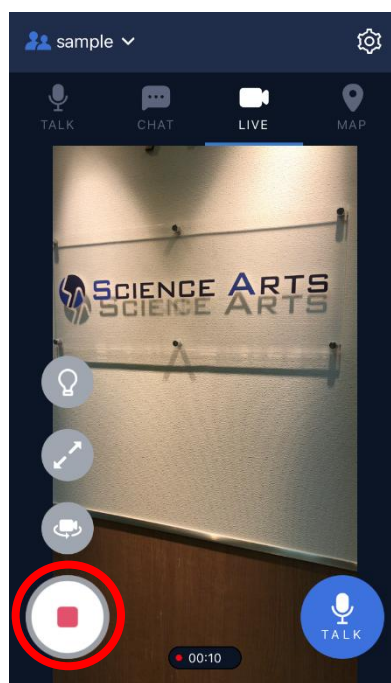
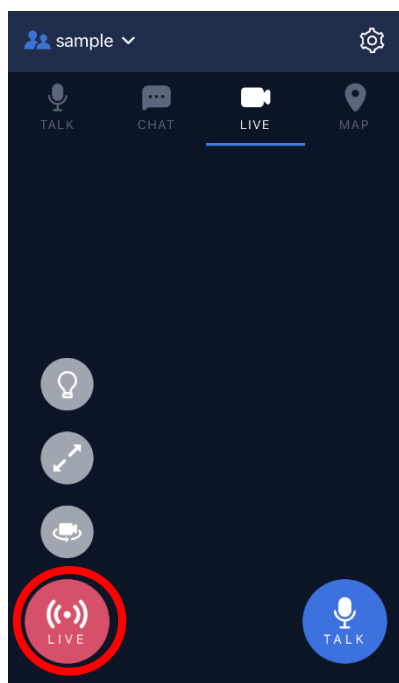
ライブキャストを設定したグループにて、リアルタイムで映像を配信することができます。

ライブキャストができるグループは管理者にご確認ください。

4.1 ライブキャスト配信方法

以下の手順でグループ内のユーザーに対して、ライブキャスト映像を配信できます。

- (1) ライブキャストオプションを設定したグループで LIVE タブを開きます。
- (2) ライブボタンを押すと映像が配信されます。



- (3) 停止 ■ ボタンを押すとライブキャストが終了します。

「ライブキャスト自動終了」で設定した時間が経過するとライブキャスト配信を終了します。既定値は 60 秒です。1 回の配信時間を延長したい場合は管理コンソールからグループ情報を編集してください。







Buddycom アプリケーションの通知設定から自動終了通知が ON になっている場合は音声で通知されます。

通知設定は[付録 3-9. 通知設定](#)をご参照ください。

Buddycom のライブキャスト設定にて配信の解像度とフレームレートを変更できます。

ライブキャストの設定項目については[付録3-5. ライブキャスト設定](#)をご参照ください。

4.2 LIVE 画面の表示について

ボタン名称	アイコン	説明
回転ボタン		受信中のライブキャストの動画を時計回りに 90 度回転して表示します。 ※送信中はボタンを押しても動画は回転しません。
ライトボタン		アウトカメラで動画撮影中にライトを点灯します。
ズームボタン (iOS のみ)		表示されている映像を画面幅いっぱいまで拡大します。 (この時映像の上下は表示されません)
切り替えボタン		インカメラとアウトカメラを切り替えます。 動画配信中も切り替えることが可能です。
LIVE ボタン		動画の配信、停止を行います。 動画の受信中に配信はできません。
TALK ボタン		ミニトークボタンをタップして通話を開始します。 動画の配信、受信中でも発話可能です。

4.3 ライブキャスト機能の注意事項

ライブキャストは iOS 版アプリバージョン 1.1.8 以降、Android 版アプリバージョン 1.1.6 以降のアプリにてご利用いただけます。

それ以前のバージョンには対応しておりません。

Apple 製品では、SoC が A8 以降の端末にてライブキャストをご利用いただけます。

- ・ iPhone: iPhone6 以降
- ・ iPad: 第 5 世代以降
- ・ iPad mini: 第 4 世代以降

ライブキャストは個別通話ではご利用いただけません。

5. エンタープライズ機能

Talk Enterprise プラン、Livecast Enterprise プランで利用できます。
エンタープライズ機能については、「[機能一覧](#)」をご参照ください。

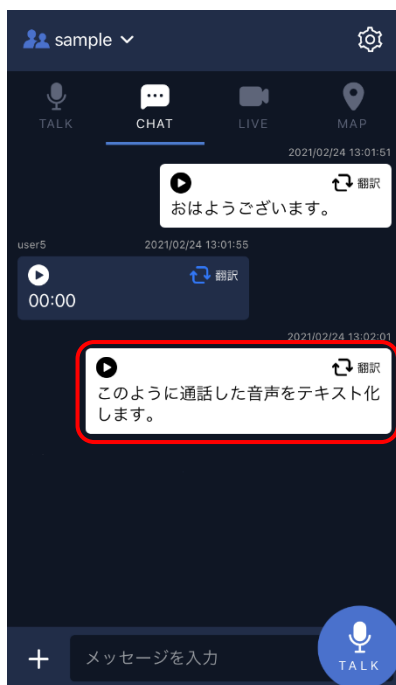
5.1 音声テキスト化

音声テキスト化オプションの設定をしたグループにて通話をする、通話音声テキスト化されて CHAT 画面に表示されます。

音声テキスト化ができるグループは管理者にご確認ください。

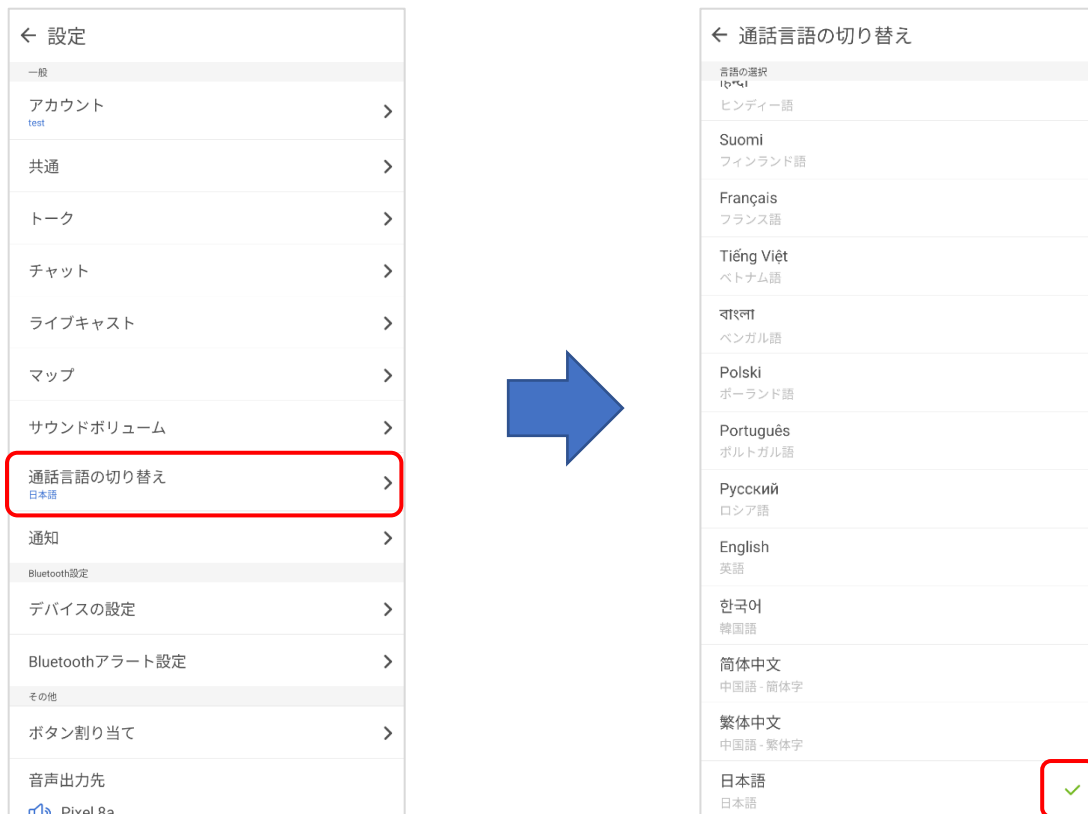
5.1.1 音声テキスト化の利用方法

- (1) 音声テキスト化オプションを設定したグループで通話をします。
- (2) 通話内容がテキスト化されて CHAT 画面に表示されます。



5. 1. 2 通話言語の切り替えについて

- (1) 発話時に使用する言語を以下の手順で設定します。
- (2) 一覧から言語をタップすると、選択した言語の画面右側に ✓ マークが移動します。



翻訳オプションが設定されていないグループでは翻訳は行われません。

定型文の「読み上げ文」のテキストは、発話言語に合わせて入力をしてください。

5.2 トランシーバー翻訳

音声テキスト化オプションと、翻訳オプションを設定したグループにて通話をする、発話内容がテキスト化され、翻訳後に自動で読み上げられます。

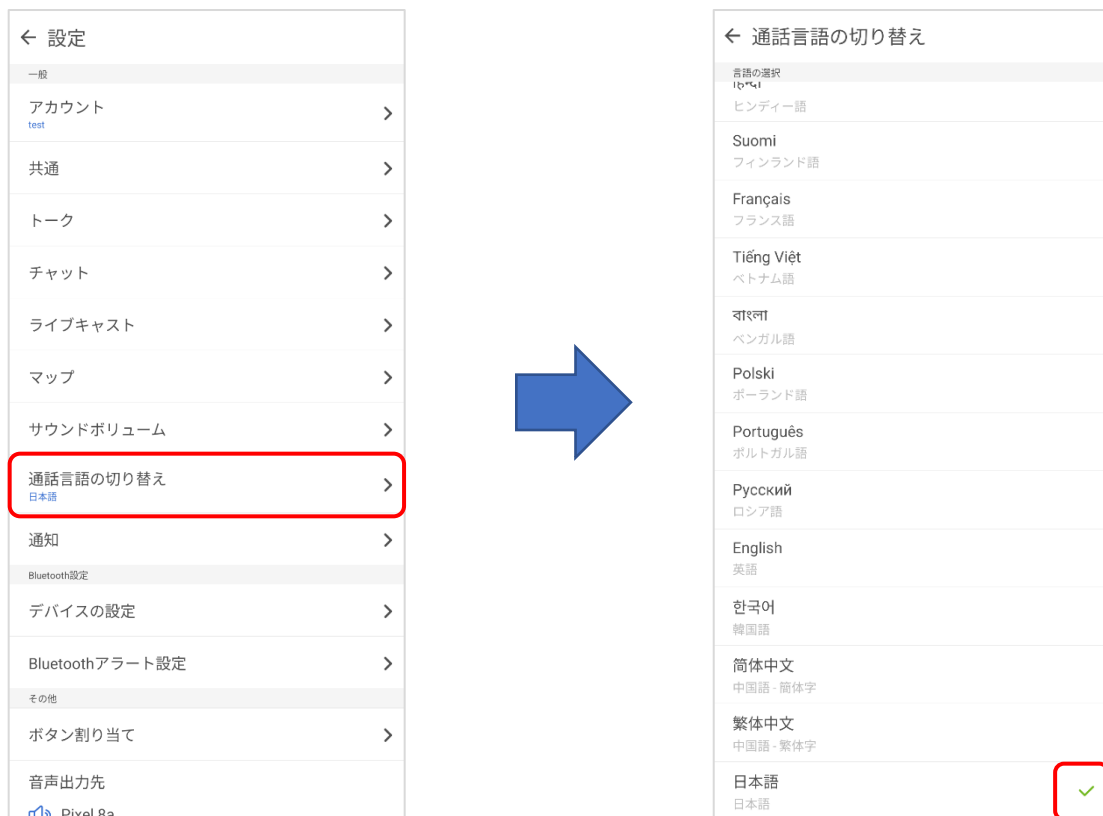
iOS 版ではベトナム語とウクライナ語は読み上げられません。

トランシーバー翻訳ができるグループは管理者にご確認ください。

5.2.1 トランシーバー翻訳の言語設定方法

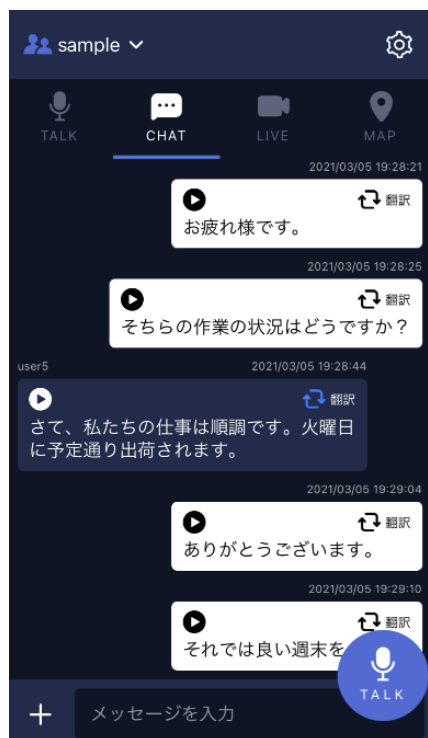
発話時に使用する言語を以下の手順で設定します。

- (1) 設定画面の「通話言語の切り替え」を開きます。
- (2) 一覧から言語をタップすると、選択した言語の画面右側に ✓ マークが移動します。

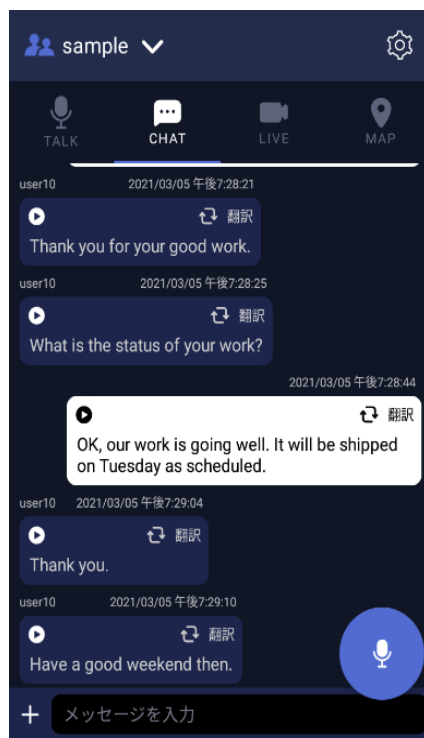


5.2.2 トランシーバー翻訳の利用方法

- (1) 音声テキスト化と翻訳オプションを設定したグループで通話をします。
- (2) 通話内容が翻訳されて CHAT 画面に表示されます。



発話言語 日本語設定

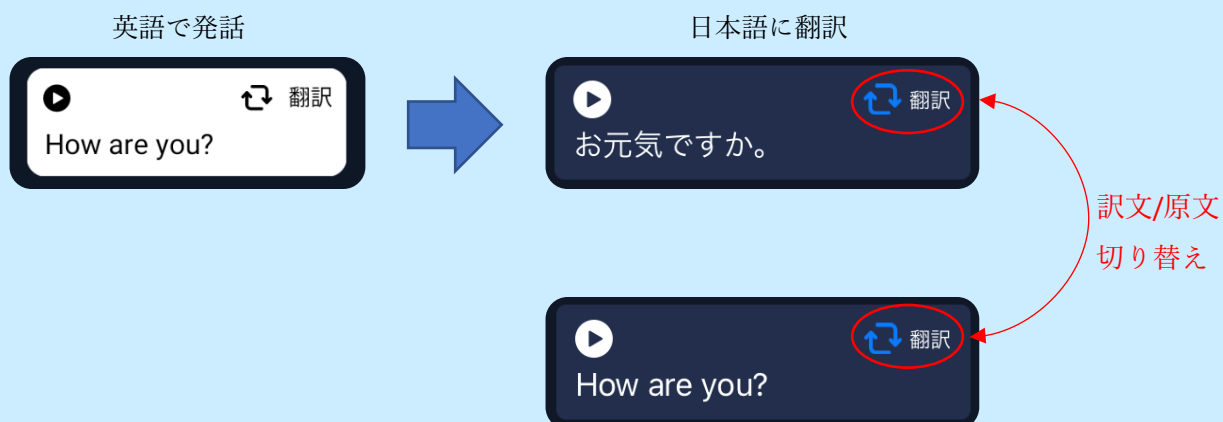


発話言語 英語設定

翻訳の読み上げについて

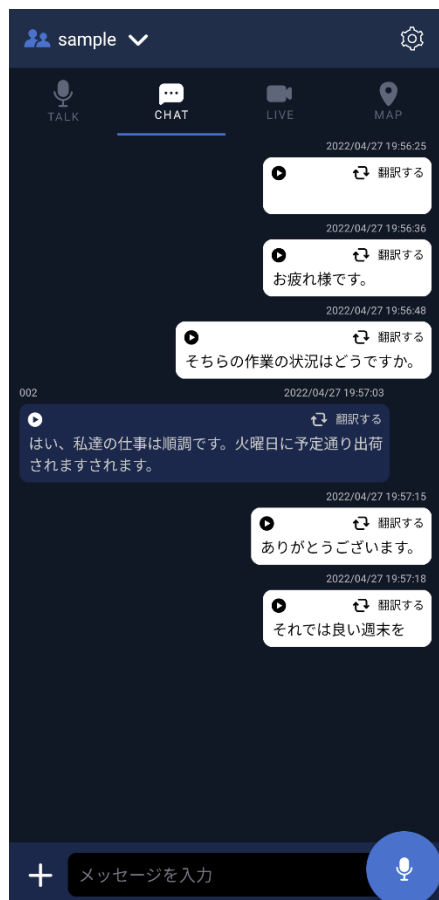
通話音声を受信後、デフォルトで翻訳結果は自動読み上げされます。

※Buddycom のチャット設定画面の「翻訳結果の自動読み上げ」がオンである場合に読み上げられます。



5.2.3 あとから翻訳について

通話言語を切り替える前の、既存の通話履歴も翻訳することができます。



6. その他アプリ使用上の注意事項

6.1 Android アプリ使用上の注意事項

- (1) Google の音声アシスタントが有効になっている場合、有線イヤホンマイクを正しく利用できない。

音声アシスタントが有効になっていると、有線イヤホンマイクの PTT ボタンを押してから発話できるまでに時間がかかることや、通話を開始できないことがあります。また、PTT 非対応有線イヤホン（押しながら通話に対応していないもの）では、ボタンを長押しすると、音声アシスタントが起動して通話を開始できません。

有線イヤホンマイクを正しく利用できない場合は、以下 URL の手順に従って Google 音声アシスタントを無効にしてください。

<https://www.buddycom.net/ja/faq/guide-19.html>

6.2 iOS アプリ使用上の注意事項

- (1) 現在の iOS の動作として、音声入出力を伴う他のアプリと併用している場合、Buddycom アプリのバックグラウンド動作が停止して利用できなくなることがあります。

Buddycom アプリの「現在地の取得」を ON にすることで、他の音声入出力を伴うアプリと併用しても Buddycom が問題なく使用できることを確認しています。

他のアプリとの併用で、Buddycom アプリの通信ができなくなった場合は、「現在地の取得」の設定を ON して利用することをご検討ください。

「現在地の取得」の設定方法

Buddycom 画面右上の歯車マークのボタンから設定画面を開く > 「マップ」を開く
> 「現在地の取得」を ON にする

付録. 1 機能一覧


	Talk Lite	Talk Enterprise	Livecast Enterprise
音声通話機能 USB-PD			
グループ通話	●	●	●
個別通話	●	●	●
双方向通話	●	●	●
マルチグループ受信	●	●	●
電話発信	●	●	●
通話履歴の再生	●	●	●
履歴保存期間 24 時間	●	●	●
チャット機能	●	●	●
位置情報の確認	●	●	●
MAP 通話	●	●	●
企業間通信	●	●	●
強制起動	●	●	●
2 段階認証	●	●	●
かんたんログイン	●	●	●
映像配信機能			
ライブキャスト	×	×	●
エンタープライズ機能			
音声テキスト化	×	●	●
トランシーバー翻訳	×	●	●
動態管理	×	●	●
アプリ設定の一括管理	×	●	●
エンドツーエンド暗号化	×	●	●
管理コンソール IP アドレス制限	×	●	●
監査ログ	×	●	●
SAML 認証	×	●	●
履歴保存 1 ヶ月延長	×	●	●
外部ストレージ連携	×	●	●
アプリ連携	×	●	●

付録. 2 インターフェースの説明

付録. 2-1. TALK 画面



付録. 2-2. CHAT 画面



The screenshot shows the CHAT interface. At the top, there are tabs for TALK, CHAT, LIVE, and MAP. Below these, a list of messages is shown, each with a play button icon and a duration (e.g., 00:02, 00:01, 00:04, 00:02). The messages are from 'user1' and dated '2021/01/20 11:18:05', '2021/01/20 11:18:08', '2021/01/20 11:18:12', '2021/01/20 11:18:21', and '2021/01/20 11:19:14'. At the bottom, there is a text input field with a '+' button on the left and a 'TALK' button on the right.

履歴

通話やテキストや画像などの送受信履歴が確認できます。
詳しくは「履歴の見方」をご参照ください。

テキストボックス

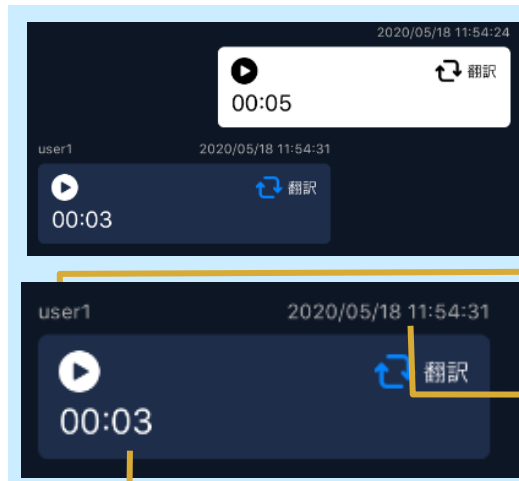
テキストの入力後に送信ボタン(テキストを入力するとミニトークボタンが送信ボタンに変わります)をタップするとテキストの送信ができます。

ミニトークボタン/送信ボタン

ミニトークボタンをタップして通話を開始します。
テキストボックスにメッセージを入力すると送信ボタンに変わります。

+ボタン

画像(フォルダから選択/カメラを起動して撮影)、定型文、サウンド、アラート(強制起動)の送信ができます。



The screenshot shows a detailed view of a message from 'user1' dated '2020/05/18 11:54:31'. The message has a play button icon and a duration of '00:03'. There is a '翻訳' (Translate) button next to it. The background is light blue.

履歴の見方

画面の右側に寄った履歴は自分が送信した履歴です。
左側に寄った履歴は相手が発信した履歴です。

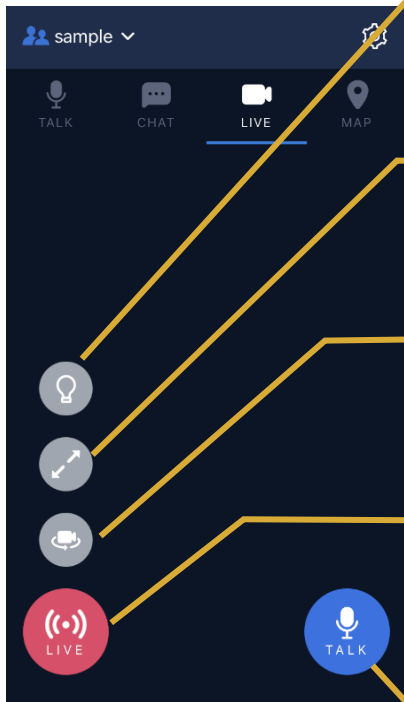
発信者のユーザー表示名

発信日時

通話時間

履歴の保存期間はご利用中のプランによって異なります。
通話履歴は保存期間内であれば管理コンソールの「トーク履歴」からダウンロードができます。

付録. 2-3. LIVE 画面



ライトボタン

アウトカメラで動画撮影中にライトを点灯します。

ズームボタン

表示されている映像を画面幅いっぱいまで拡大します。
(iOS 版のみ)

切り替えボタン

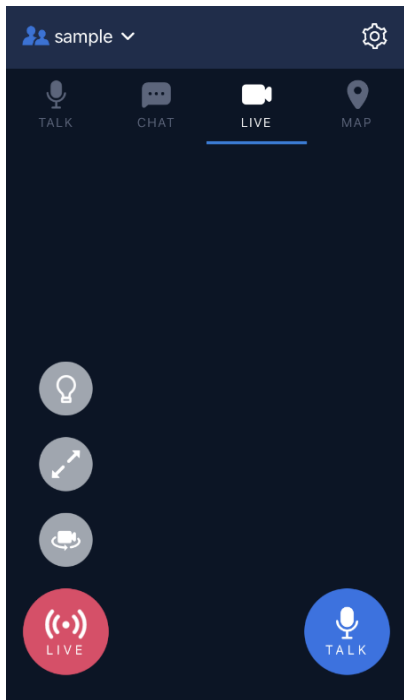
インカメラとアウトカメラを切り替えます。
動画配信中でも切り替えることが可能です。

LIVE ボタン

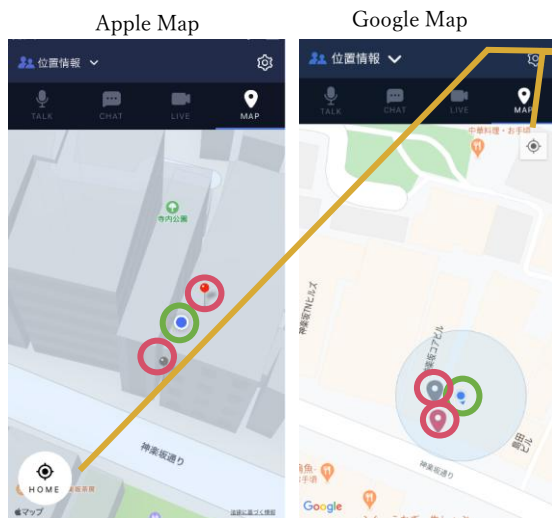
動画の配信、停止を行います。
動画の受信中に配信はできません。

ミニトークボタン

ミニトークボタンをタップして通話を開始します。
動画の配信、受信中でも発話可能です。



付録. 2-4. MAP 画面



HOME ボタン

HOME ボタンを押すと自分の現在地に戻ります。

ユーザー

- ユーザー(自分)の位置情報です。
- グループ内のユーザーの位置情報です。

グループ内のユーザーのステータスについて
 赤ピン…グループ通話を受信しているユーザーです。
 灰ピン…グループ通話を受信していないユーザーです。

MAP 通話を利用する場合



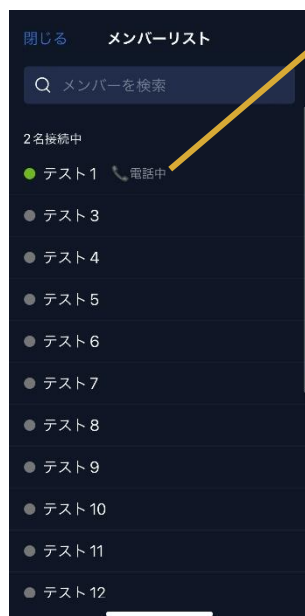
発話範囲

青枠□の範囲内に表示にされたユーザーに対して
 ミニトークボタンで通話を開始します。

ミニトークボタン

ミニトークボタンをタップして通話を開始します。

付録. 2-5. OS 標準電話の受発信時のステータス表示



OS 標準の電話アプリで受発信中のユーザーのステータス表示

OS 標準の電話アプリで発信、または受信中のユーザーは、メンバーリストのユーザー名の右側に「電話中」と表示されます。

アイコンが緑色（●）のユーザーのみ OS 標準電話の受発信時のステータスが表示されます。（●表示のユーザーはグループの選択状態が「話す」または「聞く」に設定されていて、かつ Buddycom アプリがオンライン状態のユーザーです。）

iOS 版アプリバージョン 2.0.53 以降、Android 版アプリバージョン 2.0.60 以降のアプリで自動で表示されます。

※上記対応バージョン未満のアプリを使用しているユーザーは「電話中」のステータスは表示されません。

付録. 3 設定の初期値と説明

付録. 3-1. アカウント設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
名前	設定したユーザー名	Android iOS	ログインしているユーザー表示名を変更できます。
テナント名	—	Android iOS	ログインしているユーザー所属しているテナント名が確認できます。
ステータス	未設定	Android iOS	ログインしているユーザーのステータスを変更できます。
ログアウト	—	Android iOS	ログアウトできます。

付録. 3-2. 共通設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
OS 起動時の自動実行	オン	Android	端末起動時に Buddycom が自動で起動します。
サブボタン (右/左)	NFC の読み取り	Android iOS	NFC の読み取りを開始するボタンを TALK 画面に表示します。読み取ったデータは CHAT 画面送信されます。
	カスタム URL スキームを開く	Android iOS	他のアプリとの連携時に設定します。連携ボタンを TALK 画面に表示します。

	Face to talk のショートカット	—	Android iOS	Face to talk のオン／オフの切り替えが可能なボタンを TALK 画面に表示します。
	VOX のショートカット	—	Android iOS	VOX のオン／オフの切り替えが可能なボタンを TALK 画面に表示します。
	セカンドグループへ発信	—	Android iOS	設定をしたセカンドグループへの発話ボタンを TALK 画面に表示します。（トグルモードで動作します）
	メタデータリーダーを開く	—	Android iOS	メタデータの読み取りを開始するボタンを TALK 画面に表示します。読み取ったデータは CHAT 画面送信されます。
	画面操作のロック	—	Android	TALK 画面のメインボタン以外の Buddycom アプリの画面操作ができないようにロックするボタンを TALK 画面に表示します。
	定型文を送信する	—	Android iOS	定型文 1～10 を送信できます。
	ダイレクト応答	—	Android iOS	通話を受信した最新のグループまたは、個別通話に対して発話します。アプリ起動後に通話を受信していない場合は発話できません。（トグルモードで動作します）
	Buddycom AI に話しかける	—	Android iOS	Buddycom AI に対して発話します。 ※Buddycom AI を契約しているテナントのみ表示されます。
	使わない	オン	Android iOS	サブボタンを表示しません。
定型文		定型文 1 定型文 2	Android iOS	定型文 1～10 まで設定することができます。
定型ステータス		オフィス 昼休憩	Android iOS	定型ステータスを 5 つまで設定することができます。
画面をスリープにしない		オフ	Android	Buddycom がフォアグラウンドの場合にスマートフォンのスリープを防ぎます。
バックグラウンドモード		オフ	iOS	他アプリの音声を再生中に Buddycom の利用が可能になります。オンにすると有線イヤホンマイクによる PTT 通話はできません。
プロキシサーバーを利用する		オフ	iOS	プロキシを利用する際に設定します。
Wi-Fi/モバイル通信の優先設定		Wi-Fi を優先する	Android iOS	端末が Wi-Fi とモバイル通信の両方で通信可能なとき、Buddycom がどの方法で通信するかを設定します。 ※「Wi-Fi 低速時にモバイル通信を使用する」は iOS でのみ利用可能です。

付録. 3-3. トーク設定

設定項目		初期値	対応 OS	説明
画面ボタンの動作		ホールド	Android iOS	ホールド…メイン(通話)ボタンを押している間に発話できます。 トグル …メイン(通話)ボタンを押下して発話のオンオフを切り替えます。
外部ボタンの動作		ホールド	Android iOS	BLE 対応の Bluetooth デバイスや、スマートフォンのマルチファンクションボタンの動作を変更できます。
ミニトークボタンの動作		ホールド	Android iOS	CHAT 画面、LIVE 画面、MAP 画面の通話ボタンの動作を変更できます。
Face to talk を有効にする		オフ	Android iOS	端末の画面に顔を向けて認識させることでハンズフリーでの発話ができます。
Face to talk の設定	顔を検知するまでの時間	1.0	Android iOS	顔を検知してから発話を開始するまでの時間(秒)を設定します。
エコーモードを有効にする		オフ	Android iOS	Bluetooth デバイスか有線イヤホン使用時のみ、発話中の自分の声が聞こえるようになります。不使用時は無効になります。
VOX を有効にする		オフ	Android iOS	声を検出してハンズフリーでの発話ができます。
VOX の設定	VOX のモード	Intelligence	Android iOS	Intelligence モード: 「声の認識制度」「音量感度」「切断する時間」を調整できるモードです。 Basic モード: 「音量感度」「切断する時間」を調整できるモードです。
	声の認識精度	中間	Android iOS	VOX の反応感度を調整します。
	音量感度	中間	Android iOS	VOX の反応音量を調整します。
	切断する時間	1000ms	Android iOS	音声を認識しなくなって発話状態を終了するまでの時間を選択します。
マイクスタンバイを有効にする		オフ	iOS	周辺機器のボタンを押してから、遅延することなく発話開始/終了ができます。 ※iOS 版 Buddycom アプリが、24.081 より前のバージョンでは、設定の名称が「マイクを常時オンにする」となっています。
iOS のマイクモードを利用する		オフ	iOS	オンにすると、強制起動で Buddycom アプリが起動されたときに発話開始をしても相手に音声が届かないことがあります。強制起動された直後は、ホーム画面の Buddycom アプリのアイコンをタップして、Buddycom アプリを画面に表示してから発話するようにしてください。
				iOS のマイクモードを利用することで、発話時の周囲の音の軽減などができます。有線イヤホンマイクまたは Bluetooth 機器を利用していない場合は無効になります。

付録. 3-4. チャット設定

設定項目		初期値	対応 OS	説明
翻訳結果の自動読み上げ		オン	Android iOS	翻訳結果のテキストを自動で読み上げます。
テキスト受信時の自動読み上げ		オン	Android iOS	受信したテキストを自動で読み上げます。
読み上げ対象のグループ		話す/聞くを設定しているグループ	Android iOS	読み上げを行う対象のグループの設定をします。 話すを設定しているグループ…「話す」設定をしているグループ 話す/聞くを設定しているグループ…「話す」または「聞く」を設定しているグループ
撮影時に送信確認画面を表示する		オフ	Android	カメラ撮影時に送信確認画面を表示します。
ポップアップを有効にする		オフ	Android	チャットテキストや画像を受信した際に、ポップアップを表示します。
ポップアップ設定	背景色	#FFFFFF	Android	ポップアップの背景色を 16 進数カラーコードで設定します。
	文字色	#000000	Android	ポップアップの文字色を 16 進数カラーコードで設定します。
	テキストの点滅	オフ	Android	ポップアップのチャットテキストを点滅させます。
	ポップアップの自動クローズ	オン	Android	設定した時間が経過するとポップアップが自動で閉じます。
	ポップアップの自動クローズ時間	120 秒	Android	ポップアップが自動で閉じるまでの時間（秒）を設定します。
	テキスト	オン	Android	チャットテキスト受信時にポップアップを表示します。
	画像	オフ	Android	画像受信時にポップアップを表示します。
外部リンクの動作	Buddycom 以外のアプリで開く	オン	Android iOS	対応したアプリがある場合は、URI を外部アプリで開きます。
	Buddycom で開く	—	Android iOS	Web ページを Buddycom の内部ブラウザで開きます。

付録. 3-5. ライブキャスト設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
解像度とフレームレート	1280×720 30fps	Android iOS	ライブキャスト配信時の解像度とフレームレートを選択できます。 ・1280×720・15fps ・1280×720・30fps ・1920×1080・15fps
外部カメラを利用する	オフ	Android iOS	外部カメラが利用できます。
外部カメラのタイプ	ELMO EW-1	iOS	利用する外部カメラを選択します。 ・Cerevo LiveShell X ・ELMO EW-1 ・Xacti ウェアラブルカメラシリーズ
外部カメラの IP アドレス	172.20.10.12	iOS	利用する外部カメラとの接続をする IP アドレスを指定します。 ※Android では別アプリ「Buddycam Camera Plugin」で設定可能です。

付録. 3-6. マップ設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
現在地の取得	オフ	Android iOS	自身の位置情報を MAP 画面に表示します。
位置情報の送信	オフ	Android iOS	自身の位置情報をサーバーに送信します。 ※動態管理、MAP 通話など位置情報を共有する機能を利用する際に設定します。
使用するマップコンポーネント	Apple Map	iOS	使用するマップ(Apple Map/Google Map)を選択します。 ※iOS 版でのみ選択できます。
マップのタイプ	ノーマル	Android iOS	マップの表示形式(ノーマル/衛星写真)を選択できます。
送信間隔	1 分	Android iOS	位置情報を送信する間隔を指定します。

付録. 3-7. サウンドボリューム

設定項目	初期値	対応 OS	説明
再接続時のアラート音	100	Android iOS	ネットワーク未接続時に鳴るアラートの音量調節ができます。
音声	100	Android iOS	受信音の音量調節ができます。
電話中の音声	0	Android	Buddycom 使用中に電話を受信・応答した際の Buddycom の受信した音声の音量調節ができます。 ※Android 9.0 以前にてご利用いただくことができます。
マイク	100	Android iOS	発話音の音量調節ができます。
操作音	100	Android iOS	発話ボタンの操作音の音量調節ができます。
受信時のビープ音	0	Android iOS	受信時のビープ音の音量調節ができます。
効果音	100	Android iOS	サウンド送信時・受信時の効果音の音量調節ができます。
強制起動時のアラート音	100	Android iOS	強制起動受信時のアラート音の音量調節ができます。
エコーモード	100	Android iOS	エコーモード有効時にイヤホンもしくは Bluetooth デバイスから聞こえる自分の声の音量調整ができます。
発話中のアラート音	0	Android iOS	発話中、5 秒に 1 回鳴るアラート音の音量調節ができます。
「聞く」グループの受信音	100	Android iOS	「話す」グループの通話を分かりやすくするために、他の通話（「聞く」グループと個別通話）の受信音量を調整できます。 ・「話す」グループ以外の受信音量を調整する割合（10%～100%）を「話す」グループの受信音量を基準に設定します。 既定値の 100% では、すべての通話が同じ音量になります。
	「話す」グループの受信時のみ	Android iOS	「話す」グループ以外の受信音量を調整するタイミングを設定します。 ・「「話す」グループ受信時のみ」：「話す」グループと同時に受信したときだけ、音量を調整します。 ・「常時調整」：「聞く」グループや、個別通話だけを受信しているときも、音量を調整します。
ボリューム変更をロックする	オフ	Android	Buddycom 起動中は Android のメディア音量が変更されないようにします。
すべての音量をオフにする	オフ	Android iOS	すべての音量がミュートされます。

付録. 3-8. 通話言語の切り替え

設定項目	初期値	対応 OS	説明
言語の選択	日本語	Android iOS	音声テキスト化・翻訳機能利用時に使用する言語を選択します。

トランシーバー翻訳の対応言語については、Buddycom サポートページの「音声テキスト化と翻訳機能の対応言語は？」 をご参照ください。

<https://buddycom.net/ja/faq/faqlist/faq42.html>

付録. 3-9. 通知設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
音声通知	オフ	Android iOS	画像受信時、ライブキャスト開始/終了時、強制ログアウトされた際の音声通知のオンオフを変更できます。
自動終了通知	オン	Android iOS	通話自動終了時間、ライブキャスト自動終了時間に到達した際の音声通知のオンオフを変更できます。
フォアグラウンド時に通知を表示する	オフ	Android iOS	Buddycom アプリがフォアグラウンド時の通知のオンオフが変更できます。
音声受信時	オフ	Android iOS	音声受信時の通知のオンオフが変更できます。
音声受信時の振動	オフ	Android iOS	音声受信時の通知の振動のオンオフが変更できます。
音声受信時の振動パターン	パターン 1	Android iOS	音声受信時の通知の振動のパターンが変更できます。
メッセージ受信時	オフ	Android iOS	メッセージ受信時の通知のオンオフが変更できます。
メッセージ受信時の振動	オフ	Android iOS	メッセージ受信時の通知の振動のオンオフが変更できます。
メッセージ受信時の振動パターン	パターン 1	Android iOS	メッセージ受信時の通知の振動のパターンが変更できます。

付録. 3-10. メタデータ設定 (iOS のみ)

設定項目	初期値	対応 OS	説明
通知	iOS 標準の バーコード リーダー	iOS	メタデータリーダーの読み込みツールを選択します。

付録. 3-11. デバイスの設定

設定項目	初期値	対応 OS	説明
連携中のデバイス	なし	Android iOS	接続している Bluetooth デバイス名が表示されます。
デバイスへの接続	—	Android	対応している BLE (Bluetooth Low Energy) ボタンと接続します。
自動連携	—	iOS	Bluetooth スピーカーマイクの接続を行います。
AINA ボタン	—	iOS	AINA PTT Smart Button の接続を行います。
MESH ボタン	—	iOS	Sony MESH ボタンの接続を行います。
ひとみちゃん mini	—	iOS	KEIYO ひとみちゃん mini の接続を行います。
SEV300	—	iOS	ワイヤレス PTT ネックスピーカー SE-V300 の接続を行います。

付録. 3-12. その他の設定

設定項目		初期値	対応 OS	説明
Bluetooth アラート設定	Bluetooth 接続時のアラート	オフ	Android iOS	Bluetooth デバイスが切断された際にアラートを鳴らします。
	アラートの終了時間	30 秒	Android iOS	アラートの連続鳴動時間を設定します。
	サウンド	オン	Android iOS	Bluetooth 切断時の通知のサウンドのオンオフが変更できます。 内容「Bluetooth 機器が切断されました」
	バイブレーション	オン	Android iOS	Bluetooth 切断時の通知の振動のオンオフが変更できます。
ボタン割り当て	マルチファンクションボタン 1	メイン通話	Android	スマートフォン本体のカスタマイズ可能なボタンに対して動作を割り当てることができます。
	メインボタン	メイン通話	Android	TALK 画面のメイン(通話)ボタンに対して動作を割り当てることができます。
	メインボタン長押し	定型文送信 (定型文 1)	Android	「メインボタン」定型文を設定している時のみ、利用できます。ボタン短押し時と長押し時で異なる定型文を送信することができます。
音声出力先		端末名	Android iOS	音声を出力するデバイスが表示されます。 iOS 版では、音声出力先を切り替えることができます。
Buddycom について	バージョン	バージョン番号	Android iOS	使用している Buddycom アプリのバージョン番号を表示します。
ヘルプ		よくあるご質問	Android iOS	Buddycom サイトの FAQ ページを開くことができます。
アプリを終了する		—	Android	アプリの終了操作ができます。 ※iOS 版はマルチタスクから終了してください。

付録. 4 ログインの種類について

かんたんログインは「ユーザー選択」と「ユーザーランダム」の2種類があります。

グループ作成時に、かんたんログインを有効にした際は、自動で「ユーザー選択」タイプが設定されます。


「ユーザーランダム」タイプを利用する際は、Buddycom Console(<https://console.buddycom.net/>)からグループの編集をし、かんたんログインのタイプを変更してください。

グループの編集方法はこちらをご確認ください。

<https://www.buddycom.net/ja/faq/guide-39.html#index-2>

表 付録. 4-1 かんたんログインのタイプの違い

	かんたんログイン方法	
	ユーザー選択(デフォルト)	ユーザーランダム
ログイン方法	管理者が発行したログイン URL をタップ、または QR コードを読み取り、ユーザーを選択してログインをします。	管理者が発行したログイン URL をタップ、または QR コードを読み取ると自動でログインするユーザーが割り当てられます。
ログインユーザー	ログイン URL / QR コードを発行したグループに参加しているユーザーを「アカウントの選択」画面から選んでログインします。	ログイン URL / QR コードを発行したグループに参加しているユーザーに自動的に割り当てられます。 (グループのユーザー一覧表示の上から順に割り当てられます)
利用シーン	特定のユーザーでログインしたい場合など。	ユーザーを選ばずに、とにかく少ない手順でログインがしたい場合など。
注意事項	同じユーザーに対して複数の端末からログインをした場合は、後からログインした端末でログインします。	グループに参加しているすべてのユーザーが、ログインしたユーザーに割り当てられるとログインできません。



ユーザー選択(デフォルト)の「アカウントの選択」画面の見方

画面右側のログイン時刻欄にログイン時刻が表示されているユーザーは、利用中のユーザーです。

※ログイン時刻とは、ログイン操作が実行された時刻です。オンライン/オフライン状態を表すものではありません。

利用中のユーザーを選択してログインを行うと、上書きログインされます。

画面右側のログイン時刻欄に「未ログイン」と表示されているユーザーは、ログインされていない状態のユーザーです。